

いいだ未来デザイン 2028 戦略計画

【2021（令和3）年度】

2021（令和3）年4月

飯田市 総合政策部 企画課

目次

いいだ未来デザイン2028中期計画の「年度戦略」について	1
市の人口について	1
戦略の推進について	4
SDGsの推進について	5
1 稼ぎ、安心して働ける「魅力ある産業」をつくる	7
1-① 地域産業の育成による高付加価値化	
1-② 地域内経済循環の推進	
1-③ 事業継続と新たなビジネスモデルへの取り組み支援	
1-④ 地域産業を支える担い手の育成・確保と起業家の育成	
1-⑤ 地域が支える農林業の推進	
1-⑥ 経済効果を生む観光産業の推進	
1-⑦ 働きやすい環境づくりの推進	
1-⑧ 企業誘致、オフィス誘致の推進	
2 飯田の魅力を発信し、つながる人を増やし、飯田市への人の流れをつくる	12
2-① 飯田のブランド力を高めプロモーション活動を展開	
2-② 中心市街地の賑わいのある街づくり	
2-③ 「結い」によるUターン・Iターン移住定住の推進	
3 “結いの心”に根ざす教育を実践し、豊かな心とリニア時代を生きる力を育む	15
3-① 学力保障・学力の向上	
3-② 温かな人間関係づくりと誰ひとり取り残さない教育や支援	
3-③ 飯田コミュニティスクールを活かした地域・学校・家庭での教育の推進	
3-④ 食育の推進	
3-⑤ 子どもの読書活動の推進	
3-⑥ 児童の放課後の居場所づくり	
3-⑦ 少子化における児童生徒の教育環境の充実に向けた取組	
3-⑧ 防犯・通学路の安全対策・環境整備・気候変動適応	
4 豊かな「学びの土壌」を活かした「学習と交流」を進め、飯田の自治を担い、可能性を広げられる人材を育む	20
4-① 住民の主体的な学びあいの支援	
4-② 子どもの主体性、創造性、社会性、協調性、課題解決力などを育む学習の展開	
4-③ 飯田の価値と魅力の学びと発信	
4-④ 伝統文化、文化財の保存・継承・活用の推進	
4-⑤ 社会教育施設の整備、サービス向上	
5 文化・スポーツを通じて人と地域の輝き・うるおいをつくる	25
5-① 「人形劇のまちづくり」の推進	
5-② 文化・芸術の鑑賞や市民の主体的な文化芸術活動の展開を支援	
5-③ 新たな文化芸術活動の拠点づくり	
5-④ 市民のスポーツ活動・コミュニティづくりの支援、スポーツイベントの開催	
5-⑤ 競技スポーツ人口の拡大と競技志向の向上	
5-⑥ 中学生期の多様なスポーツ環境の充実	
5-⑦ スポーツ施設の整備、サービス向上	

6	結婚・出産・子育ての希望をかなえる	29
	6-① 結婚の希望をかなえる	
	6-② 出産の希望をかなえる	
	6-③ 孤立を防ぎ、子育ての希望をかなえる	
	6-④ 飯田の持ち味を活かし、豊かな育ちを支える	
7	「市民総健康」と「生涯現役」をめざす	32
	7-① 新型コロナウイルス感染症対策の推進	
	7-② 市民、地域とともに進める健康づくり(働き盛り世代からの生活習慣病予防)	
	7-③ 後期高齢者を対象とした保健指導(健康づくり)	
	7-④ 介護予防(重度化防止)の推進	
8	共に支え合い、自ら行動する地域福祉を充実させる	34
	8-① 地域福祉課題検討会の開催による地域福祉活動の推進	
	8-② 住み慣れた地域に住み続けられる社会の構築	
	8-③ 複合化・複雑化した課題解決に向けた重層的支援体制の構築	
	8-④ 障がい者の社会参加の推進	
9	20地区が輝く生き活きとした地域づくりを地域主体に進める	36
	9-① 生き活きとした住民自治を育む	
	9-② 地域の担い手を確保し、活力を維持するための「20地区田舎へ還ろう戦略」の推進	
	9-③ 中山間地域をもっと元気にする	
10	個性を尊重し、多様な価値観を認め合い、活動の場を広げる	38
	10-① 地域づくりの活力を生み出すムツの市民活動の推進	
	10-② 個性が尊重され、安心して暮らせる地域づくり	
	10-③ 国籍や文化等の多様性を認め合い、外国人住民と共生する地域づくり	
11	地球環境への配慮が当たり前の暮らしとまちづくりの推進	40
	11-① ごみの3R(減量・再使用・再資源化)を地域ぐるみで推進	
	11-② 家計や事業経営を助ける省エネ型への転換	
	11-③ エネルギーの域産域消による環境と経済の地域内好循環と防災力の強化	
	11-④ リニア駅周辺におけるモデルエリアの構築	
	11-⑤ 生活をよりよく心豊かにする環境学習と実践の推進	
12	災害や社会リスクに備え、社会基盤を強化し、地域防災力の向上を図る	43
	12-① 災害情報伝達手段の多様化と避難の実効性を高める	
	12-② 災害対策本部の機能強化を図り、より実践的な防災訓練の実施	
	12-③ 飯田市第12次消防力(消防団)整備計画に基づく消防力の維持・向上	
	12-④ 通学路生活道路の安全確保と高齢者人身交通事故の抑止	
	12-⑤ 災害時にも都市機能が維持でき、暮らしを支える社会基盤の戦略的強靱化	
13	リニア・三遠南信時代を支える都市基盤を整備する	46
	13-① リニア・三遠南信時代を見据えた良好な土地利用の推進	
	13-② リニア中央新幹線や三遠南信自動車道の整備効果を地域振興に活かす広域交通拠点整備と広域道路ネットワークの強化	
	13-③ リニアの2次交通及び持続可能な地域公共交通の実現と、AI等の技術を活用したスマートモビリティの実装	
	13-④ デジタル化、先端技術活用推進に向けた研究と実装	

いいだ未来デザイン 2028 中期計画の「年度戦略」について

年度戦略は、中期計画4年間（2021～2024年度）の基本的方向に基づき、重点的に取り組むテーマとして掲げた13の基本目標それぞれの具体的な取組です。また、取組の進捗や社会情勢に随時対応し有効性を高めるため、戦略計画は年度毎見直し事業を推進します。

なお、中期計画においては、国の「まち・ひと・しごと創生法」に基づく第2期総合戦略^{*}を一体化した構造とし、地方の課題となっている人口減少及び地域経済の縮小を克服するための事業を重点戦略と位置付け、地方創生を目指した取組を一層強化していきます。

^{*}市は第1期飯田市版総合戦略として2015（平成27）年度から2020（令和2）年度を期間に策定。

^{*}第2期総合戦略に関して、国は令和2年12月に改訂を行い新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、デジタル・トランスフォーメーション（DX）、脱炭素社会（クリーン社会）、テレワーク、オンライン関係人口などの推進を追加。

市の人口について

飯田市人口ビジョンでは、2028年の定住人口を96,000人とし、休日滞在人口率をその1.62倍とし交流人口の増加を目指すことを掲げています。この目標を達成するため、前期計画4年間では、エス・バードの開業による地域産業の高付加価値化や人材育成の機能の強化、結いターン移住定住推進室の設置による相談者対応の強化、小中連携・一貫教育の推進とICTを活用した教育課題対応、人形劇を通じた国際交流、若者の結婚支援や子育て・保育環境の充実、市民に寄り添う各種の保健福祉施策などを重点に展開してきました。また、リニア・三遠南信自動車道の開通を控え、駅周辺の整備、二次交通の構築、良好な生活環境の保全にも取り組みました。これらによりUIターン者の数は増加傾向にあるものの、2020年における飯田市人口は97,039人^{*}であり、人口増加策の効果は充分には表れていません。

中期計画4年間においては、新型コロナウイルス感染症による市民の健康や経済活動を守る取組を最優先しながらも、人口ビジョンも達成するために、目下のコロナ対策とともにアフターコロナも展望しつつ、人口増加につながる戦略を更に強化していきます。

^{*}2015（平成27）年の国勢調査の数値をもとに住民基本台帳の増減による推計で算定。

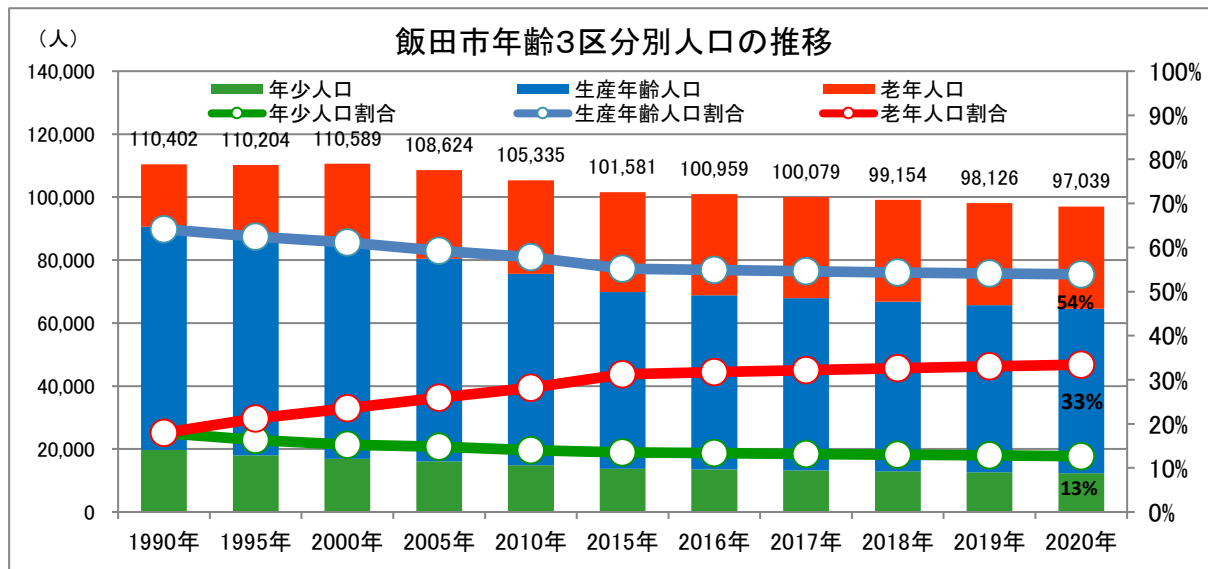
（1）人口推移

飯田市の総人口は、算定基礎となる2005（平成17）年の国勢調査では108,624人が、2015（平成27）年の国勢調査では101,581人となっています。

未来デザイン2028前期計画期間においても人口減少は続いています。

飯田市(全体)の人口推移	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2028 (R10)
飯田市の総人口 ()内は増減累計	101,581	100,959 (△622)	100,079 (△1,502)	99,154 (△2,427)	98,126 (△3,455)	97,039 (△4,542)	
人口ビジョン ()内は増減累計	101,581	100,964 (△617)	100,348 (△1,233)	99,731 (△1,850)	99,115 (△2,466)	98,498 (△3,083)	96,000
社人研推計 ()内は増減累計	101,581	100,764 (△817)	99,948 (△1,633)	99,131 (△2,450)	98,315 (△3,266)	97,498 (△4,083)	91,000

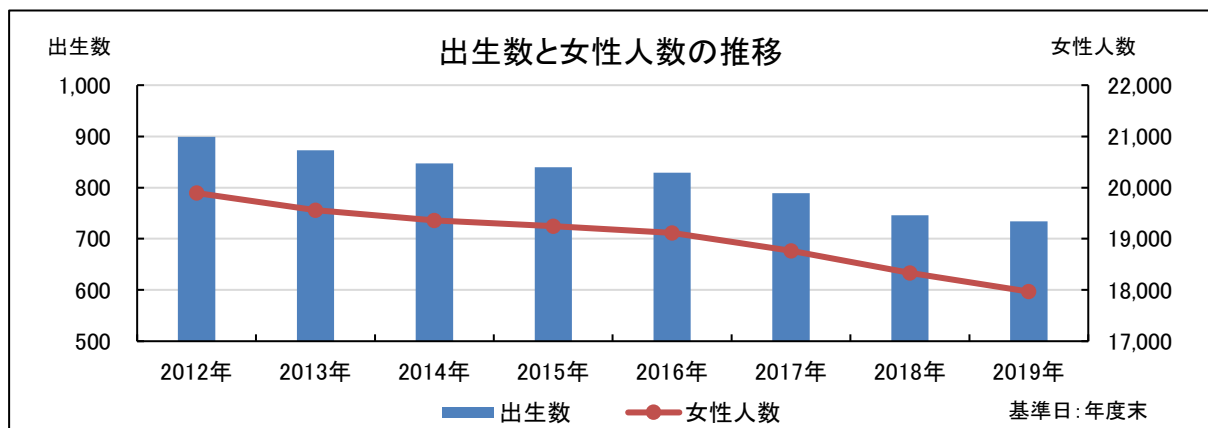
人口構成をみると、0歳から14歳までの年少人口と15歳から64歳までの生産年齢人口は年々減少し、65歳以上の老年人口は年々増加しています。特に、生産年齢人口は2005（平成17）年の国勢調査から10,000人以上減少しており、2020（令和元）年の推計では52,318人（対前年比-756人）となっています。



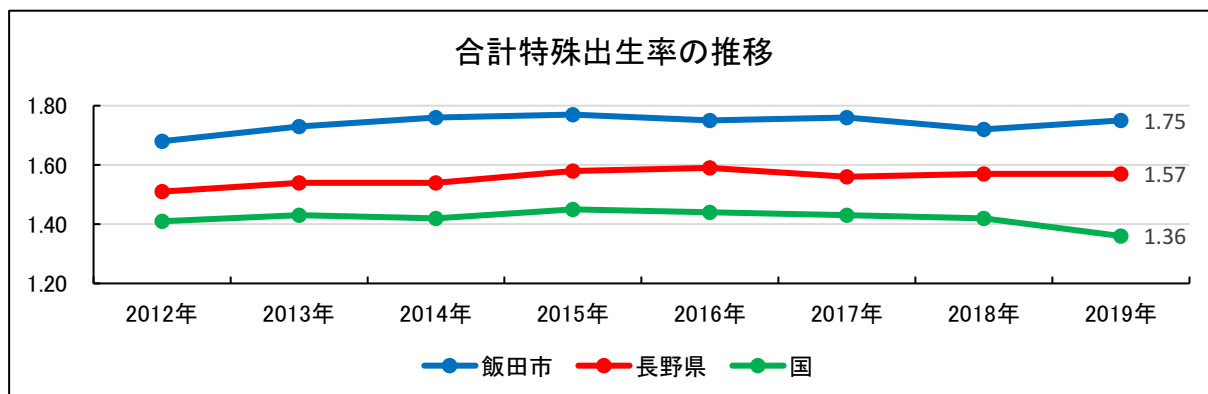
①自然動態（出生数・死亡数）

○出生数の推移

・15歳～49歳の女性の人数は減少が続いており、それに伴って出生数も減少しています。

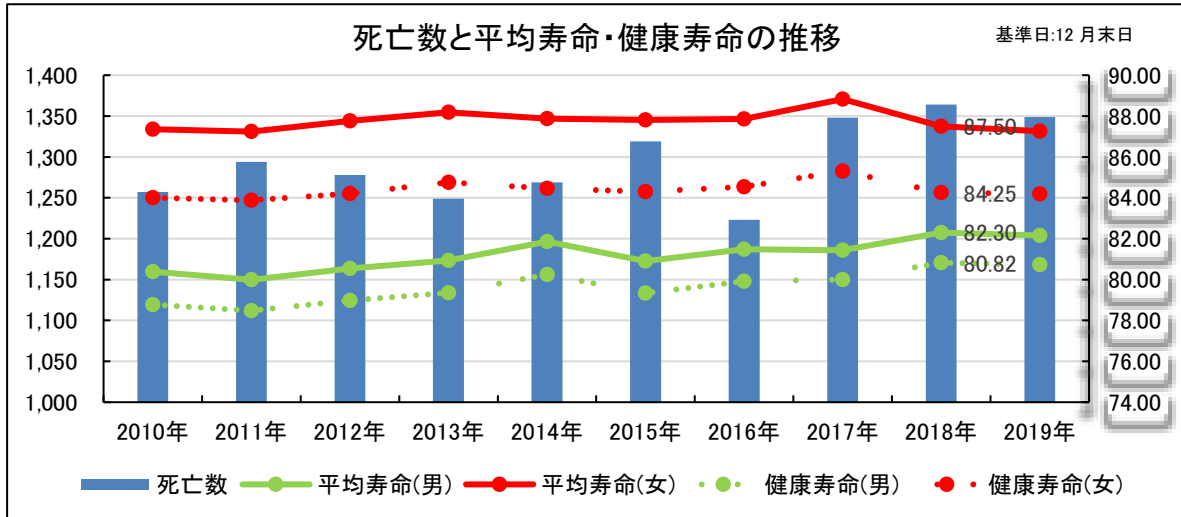


・合計特殊出生率は2011（平成23）年が1.63であるのに対し、2019（令和1）年は1.75と上昇傾向にあり、長野県の1.57や国の1.42と比較しても高い数値を示しています。



○死亡数の推移

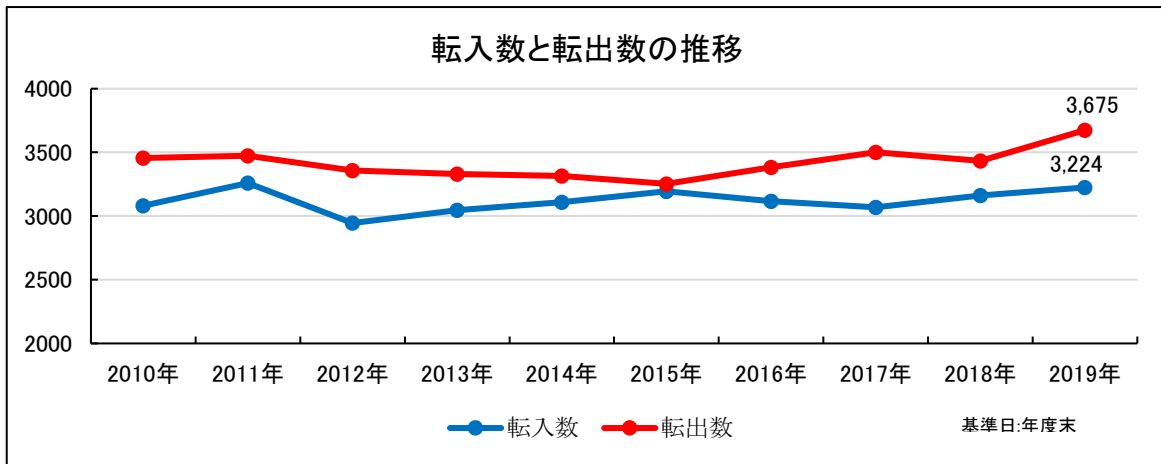
- ・死亡数は2009（平成21）年の1,221人から増減を繰り返しながら推移していますが、2019（令和元）年は1,349人（対前年比-15人）でした。
- ・2019（令和元）年は男性の平均寿命が82.16、健康寿命が80.73で、女性の平均寿命が87.26、健康寿命が84.02で高い水準を維持しています。



②社会動態（転入数・転出数）

○転入数と転出数の差

- ・2009（平成21）年から2015（平成27）年にかけて、転入数と転出数の差が縮小傾向にありましたが、2016（平成28）年以降は差が拡大傾向にあります。



(2) 地区別人口の推移

地区別の人口は、2015（平成 27）年の国勢調査の数値をもとにして、住民基本台帳の増減による推計で示しています。

	2010年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	5年前(2015年) からの人口増減率	10年前(2010年) からの人口増減率
橋北	3,356	3,173	3,127	3,038	2,977	2,881	2,838	89%	85%
橋南	2,906	2,723	2,667	2,629	2,581	2,534	2,512	92%	86%
羽場	5,107	4,966	4,941	4,863	4,801	4,728	4,678	94%	92%
丸山	3,647	3,505	3,483	3,447	3,372	3,321	3,310	94%	91%
東野	3,170	3,056	2,960	2,935	2,865	2,821	2,752	90%	87%
座光寺	4,531	4,382	4,298	4,354	4,350	4,247	4,184	95%	92%
松尾	12,627	13,035	13,112	13,035	13,002	12,994	12,933	99%	102%
下久堅	3,061	2,946	2,904	2,835	2,762	2,688	2,643	90%	86%
上久堅	1,463	1,318	1,296	1,259	1,231	1,199	1,182	90%	81%
千代	1,854	1,693	1,649	1,617	1,598	1,571	1,550	92%	84%
龍江	3,002	2,831	2,807	2,767	2,722	2,679	2,614	92%	87%
竜丘	6,560	6,724	6,685	6,697	6,637	6,630	6,582	98%	100%
川路	1,967	1,921	1,915	1,953	1,938	1,943	1,930	100%	98%
三穂	1,469	1,386	1,378	1,354	1,330	1,295	1,266	91%	86%
山本	4,887	4,756	4,733	4,664	4,637	4,611	4,482	94%	92%
伊賀良	13,887	14,219	14,146	14,127	14,134	14,115	13,971	98%	101%
鼎	13,215	13,168	13,136	13,015	12,927	12,929	12,876	98%	97%
上郷	13,707	13,891	13,918	13,780	13,626	13,354	13,217	95%	96%
上村	497	413	394	368	369	356	338	82%	68%
南信濃	1,746	1,475	1,410	1,342	1,295	1,230	1,181	80%	68%
飯田市合計	102,659	101,581	100,959	100,079	99,154	98,126	97,039	96%	95%

※各年 9 月末時点の人数

戦略の推進について

(1) 推進体制

- ・住民組織、産業界、行政機関、大学、金融機関、労働団体及び各種団体等の多様な主体と十分に連携しながら、取組の成果向上を図ります。
- ・全庁体制で施策を多様な主体との協働により横断的かつ総合的に推進し、地区や分野別懇談会など市民からの意見も随時反映させながら推進していきます。

(2) 効果の検証

- ・総合戦略としての成果を客観的かつ定量的に測るため、重要業績評価指標（KPI）を設定し、進行管理の中で合わせて評価を行います。
- ・外部評価を実施し、市民や議会、関係者からの意見を取り入れることで、より効果の高い取組へ改革改善していくPDCAサイクルを実施します。

SDGsの推進について

SDGs（エス・ディー・ジーズ：Sustainable Development Goals）とは、持続可能な開発目標のことで、2015（平成27）年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016（平成28）年から2030（令和12）年までの国際目標です。持続可能な世界を実現するための17のゴールと169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さない（leave no one behind）ことを誓っています。SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル（普遍的）なものであり、国としても積極的に取り組んでいます。

SDGsは、その基本理念として、貧困の撲滅をはじめ、世界中の「誰ひとり取り残されない」という、包摂的な世の中を作っていくことが重要であると示しています。これは、住民の福祉の増進を図ることを目的とする地方自治体と、目的を同じくするものです。そこで、当市も本計画の各分野においてSDGsに関連する目標指標を掲げ、自治体レベルでSDGsの理念と目標を支えることとしました。

〇いいだ未来デザイン2028とSDGsの連携

SDGsの取組目標		関連する未来デザインの基本目標（テーマ）	SDGsの取組目標	関連する未来デザインの基本目標（テーマ）
 1 貧乏をなくそう	貧困をなくそう	⑧(福祉)	 10 人や国の不平等をなくそう	人や国の不平等をなくそう ③(学校教育)④(社会教育)⑩(地域)
 2 飢餓をゼロに	飢餓をゼロに	①(産業)⑧(福祉)	 11 住み続けられるまちづくりを	②(人の流れ)④(学校教育)⑤(文化・スポーツ)⑥(子育て)⑦(健康)⑧(福祉)⑨(地域)⑩(環境)⑫(防災・社会基盤)⑬(都市基盤)
 3 すべての人に健康と福祉を	すべての人に健康と福祉を	⑥(子育て)⑦(健康)⑧(福祉)	 12 つくる責任つかう責任	①(産業)⑩(多様性)⑪(環境)
 4 質の高い教育をみんなに	質の高い教育をみんなに	①(産業)②(人の流れ)③(学校教育)④(社会教育)⑤(文化・スポーツ)⑥(子育て)⑩(環境)	 13 気候変動に具体的な対策を	①(産業)③(学校教育)⑩(環境)⑫(防災・社会基盤)⑬(都市基盤)
 5 ジェンダー平等を実現しよう	ジェンダー平等を実現しよう	③(学校教育)④(社会教育)⑥(子育て)⑩(多様性)	 14 海の豊かさを守ろう	⑩(環境)
 6 安全な水とトイレを世界中に	安全な水とトイレを世界中に	⑩(地域)⑫(防災・社会基盤)	 15 陸の豊かさを守ろう	①(産業)、⑩(環境)⑬(都市基盤)
 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	エネルギーをみんなにそしてクリーンに	⑩(環境)⑬(都市基盤)	 16 平和と公平をすべての人に	④(社会教育)⑧(福祉)⑨(地域)⑩(多様性)
 8 働きがいも経済成長も	働きがいも経済成長も	①(産業)②(人の流れ)⑥(子育て)⑩(地域)	 17 パートナリシップで目標を達成しよう	①(産業)②(人の流れ)⑧(福祉)⑨(地域)⑩(多様性)⑪(環境)
 9 産業と技術革新の基盤をつくろう	産業と技術革新の基盤をつくろう	①(産業)⑬(都市基盤)		

SDGsの17の目標は、「貧困をなくそう」からはじまり「全ての人に健康と福祉を」、「質の高い教育をみんなに」、「住み続けられるまちづくりを」など、市民生活とも関わりが深い目

標です。このことから、SDGsを、市民や事業者、行政との協働に向けた体制づくり、あるいは、情報や課題の共有手段として活用していくことが可能です。

また、17の目標は相互に関連し、持続可能なまちづくりにつながっていきます。このことから、SDGsを、市の各担当課で実施している施策・事業間の横断的連携を図ったり、施策・事業の目標管理に活用していくことが可能です。

いいだ未来デザイン2028中期計画においては、国際目標であるSDGsを「新しいものさし」とすることで、市民・事業者・行政などそれぞれが、グローバルな問題を地域の視点から捉え、あるいは、地域の問題をグローバルな視点から捉える機会となること、そして、SDGsをキーワードに様々な立場の人が連携し、様々な分野で持続可能なまちづくりを推進していくことを目指します。



基本目標	1 稼ぎ、安心して働ける「魅力ある産業」をつくる
戦略 (考え方)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 地域産業の持続可能な成長を目指し、産業振興と人材育成の拠点であるエス・バードの機能を活用して、地域産業の高付加価値化に取り組み、外貨獲得と域内発注・域内調達・域内消費による地域内経済循環を推進します。 ◆ 新型コロナウイルス感染症に負けない地域産業を構築するために、新たなビジネスモデルへの転換や事業承継等に取り組む事業者を支援するとともに、「環境・エネルギー」「福祉・医療」分野の産業創出を進め、様々な分野における地域産業の将来を支える担い手、起業家の育成に取り組みます。 ◆ 外貨を稼ぐ農業を振興するとともに、「農ある豊かな暮らし」が広がる取り組みを推進し、市民が農業の持つ多面的機能への理解を深め、地域が支える農業の実現を目指します。また、豊富な森林資源を活用する視点に立ち、地域産材や間伐材が有効活用される仕組みづくりに取り組みます。 ◆ アフターコロナにおける南信州地域全体の観光振興に向けて、遠山郷、天龍峡やリニア開業により玄関口となる中間駅周辺をはじめ、各地域が持つ特色ある資源を生かして、魅力づくりに取り組む人々を支援するとともに、様々なニーズに対応できる「旅の目的地」となる魅力を発信することで人を呼び込み、観光消費を促し、結果として観光従事者が増えるなど地域経済の振興に繋がる取組を進めます。 ◆ 多様な働き方を認め、働きやすい環境づくりを推進するために「ワークライフバランス改革」を企業とともに進めます。 ◆ コロナ禍における地方への移転と分散の動きをとらえて、産業用地等の整備やエス・バードの活用など、地域の強みを生かした企業・オフィス誘致に取り組みます。

進捗状況確認指標、重要業績評価指標 (KPI)

指標(単位) 把握方法	基準	進捗			目標
	R2	R3	R4	R5	R6
① 工業技術試験研究所利用件数(件)	599 (12月末)				3,400 (累計)
② 飯田産業技術大学受講者数(人)	618 (12月末)				3,800 (累計)
③ 粗付加価値額(飯田下伊那)(億円)	1,480 (H30)				1,480
④ 6次産業化総合化事業計画認定件数(件)	3 (R1)				4 (累計)
⑤ ネスクイダ取引成約金額(億円)	10.3 (R1)				40 (累計)
⑥ 直売所の八百屋機能を活用した店舗数(店舗)	2				10 (累計)
⑦ マッチングシステムへの案件登録件数(件)	1				40 (累計)
⑧ 産業センター専門家が支援する新分野・新事業に取り組む企業数(社)	67				200 (累計)
⑨ 信州大学社会人スキルアップ講座(食品・電気)修了者数(人)	12				40 (累計)
⑩ I-Portにより成立する創業・新事業展開・事業転換の件数(件)	0				20 (累計)
⑪ 信州大学共同研究講座 学位取得者数(人)	3				24 (累計)
⑫ エスバード内共創の場 利用者数(人)	2,461 (12月末)				12,000 (累計)

指標(単位) 把握方法	基準	進捗			目標
	R2	R3	R4	R5	R6
⑬ 新規就農者数[自営・法人就農] (人)	6				30 (累計)
⑭ ビジネスプランコンペにより成立する起業の件数(件)	4				20 (累計)
⑮ 市田柿出荷量[南信州](t)	2,094 (R1)				2,300
⑯ 市民農園の利用区画数(区画)	210				240
⑰ 1日農業バイトマッチング件数(件)	228 (12月現在)				1,000
⑱ 森林資源活用推進事業 実施件数(件)	12 (R1)				30
⑲ 間伐面積(ha)	300				1200 4年間累計
⑳ 天龍峡の観光入込客数(人)	331,500 (R1)				376,000
㉑ 遠山郷の観光入込客数(人)	134,500 (R1)				250,000
㉒ 観光消費額(単位:百万円) (長野県観光地利用者統計)	1,069 (R1)				1,250
㉓ ワークライフバランス推進企業懇談会への参加企業数(社)	-				16
㉔ 職場いきいきアドバイスカンパニー認証企業数(社)	9				13
㉕ 企業立地(振興)促進事業補助金交付対象企業の雇用人数(人)	91				96 (累計)
㉖ 企業誘致数(社)	2				4 (累計)

小戦略(具体的な取組)及び戦略的事務事業

① 地域産業の育成による高付加価値化

- (1) エス・バード内工業技術試験研究所の体制強化と、その活用と大学等の連携により製品・技術開発を支援します。
- (2) エス・バードを拠点に長野県・地元デザイナー等との連携により地域資源を活用した商品開発・販売までの取り組みを支援し、地域内外へのPRを促進します。
- (3) シードル等果実酒の醸造施設整備など6次産業化に取り組む事業者を支援します。
- (4) 「働きながら学べる環境」づくりを進め、製造現場における技術・技能者、管理者等の育成と、新たな製品や技術開発促進に向けて、信州大学と連携し専門的なスキル・知識を持つ人材の育成に取り組みます。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)(2)	産業振興事業	工業課	162,039	
(3)	農畜産物ブランド向上・6次産業化推進事業	農業課	34,093	
(4)	人材育成事業	工業課	11,708	基本目標2小戦略③
		計	207,840	

補足事項

(1) KPI: 工業技術試験研究所利用件数(件)

・粗付加価値額(飯田下伊那)は、工業統計調査を利用しているため、H30年度の数値を基準値として記載

・6次産業化総合化事業計画認定数は、国の認定時期が未定のため、R1年度の数値を基準値として記載

② 地域内経済循環の推進

- (1) 「農＋食・観光」をつなげ、産業分野が連携して、地元農畜産物を飲食店等へ供給する仕組みづくりに取り組みます。
- (2) 地域内発注や域内調達及び地域内消費が促進されるように具体的な助成策を研究します。
- (3) 産業センターのネスクイダを中心に販路開拓による受注獲得と域内発注の促進を支援します。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)	農畜産物ブランド向上・6次産業化推進事業	農業課	34,093	
(2)	地域経済活性化プログラム推進事業	産業振興課	784	
(3)	産業振興事業	工業課	162,039	
		計	196,916	

補足事項

ネスクイダ取引成約金額(億円)は、会員企業への調査により年度末に集計結果がまとめられるためR1年度実績値を記載。

③ 事業継続と新たなビジネスモデルへの取り組み支援

- (1) 事業承継支援飯田版プラットフォームの機能を最大限活用し、承継相手とのマッチングを進め、地域経済の活性化を図ります。
コロナ禍において、産業センターに配置する専門人材を活用し、新分野(環境・エネルギー、福祉・医療等)への参入や、省力化・生産性向上に向けたIoT、AI、ロボット化による事業体制を強化する企業を幅広く支援します。
- (2) 飯田市新事業創出支援協議会(I-Port)で創業、新事業創出、事業転換を目指す起業家・事業者を支援します。
(再掲)「働きながら学べる環境」づくりを進め、製造現場における技術・技能者、管理者等の育成と、新たな製品や技術開発促進に向けて、信州大学と連携し専門的なスキル・知識を持つ人材の育成に取り組みます。
- (3) 飯田市新事業創出支援協議会(I-Port)で創業、新事業創出、事業転換を目指す起業家・事業者を支援します。
- (4) 飯田市新事業創出支援協議会(I-Port)で創業、新事業創出、事業転換を目指す起業家・事業者を支援します。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)	事業承継支援事業	産業振興課	2,060	
(2)	産業振興事業	工業課	162,039	
(2)	新産業創出事業	工業課	17,056	
(3)	起業家育成支援事業	金融政策課	11,771	
(4)	人材育成事業	工業課	11,708	基本目標2小戦略③
		計	204,634	

④ 地域産業を支える担い手の育成・確保と起業家の育成

- (1) 信州大学と連携し、航空機システム分野の運営支援とランドスケープ分野・教育分野の設置に向けて取り組むとともに、エスバード内「信州大学南信州サテライトキャンパス」の充実を図ります。
- (2) 担い手就農プロデュース、農業法人等の関係機関と連携して、新規就農者の確保と育成に取り組みます。
- (3) 起業家ビジネスプランコンペティションにより、地域の関係機関が一丸となって起業家のビジネスプランの具体化と事業の成長をサポートします。
- (4) エス・バード内デジタル工作機器ものづくり工房「ファブスタ★」の活用による次世代を担う人材の育成に取り組みます。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)(4)	人材育成事業	工業課	11,708	基本目標2小戦略③
(2)	担い手確保・育成支援事業	農業課	54,612	
(3)	起業家育成支援事業	金融政策課	11,771	
		計	78,091	
補足事項				
(1)KPI:信州大学共同研究講座 学位取得者数(人)				

⑤ 地域が支える農林業の推進

- (1) 市田柿の生産基盤の強化と、販路の拡大に取り組みます。
- (2) 「農ある暮らし」を応援するため、市民農園制度等を周知するとともに、1日農業バイトのマッチングアプリの活用を進めます。
- (3) 林業関係団体との連携による認証材を含めた地域産材の利用を促進します。
- (4) 搬出間伐や更新伐の促進による森林整備を進めます。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)	強い園芸産地育成事業	農業課	26,921	
(1)	農畜産物ブランド向上・6次産業化推進事業	農業課	34,093	
(2)	元気な農村づくり推進事業	農業課	1,482	
(2)	担い手確保・育成支援事業	農業課	54,612	
(3)	森林資源活用推進事業	林務課	3,497	
(4)	森林づくり推進事業	林務課	55,113	
		計	175,718	

補足事項

市田柿出荷量は、2月現在出荷中であるため、直近のR1年度の数値を基準値として記載

⑥ 経済効果を生む観光産業の推進

- (1) 観光地域づくり法人(地域連携DMO)(株)南信州観光公社とともに「旅の目的提案」としてのプロモーションの強化と周遊滞在型観光を推進し、外貨の獲得に取り組みます。
- (2) 天龍峡大橋「そらさんぼ」や遊歩道、パーキングエリアなどの多様な拠点を活用した経済振興を進めるため、旅行者の滞在時間を増やし、消費を喚起する取組みを進めます。
- (3) 下栗の里、しらびそ高原、道の駅遠山郷を拠点として、南アルプスの「エコ登山」など新たな魅力づくりによる誘客を進め、来訪者の消費を促し、観光産業への従事者を増やすなど、観光を切り口とした地域振興を進めます。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)	観光誘客推進事業	観光課	45,948	観光振興事業、観光地域推進事業を統合
(2)	天龍峡まちづくり支援事業	観光課	26,134	
(3)	遠山郷観光戦略プロジェクト事業	観光課	13,096	
(3)	上村観光施設管理事業	観光課	49,871	
(3)	南信濃観光施設管理事業	観光課	72,847	
		計	207,896	

⑦ 働きやすい環境づくりの推進

- (1) 「ワーク・ライフ・バランス推進企業懇談会」を設置するとともに、推進コーディネーターと連携し、多様な働き方や多様な人材の活用など、働きやすい環境づくりを支援します。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)	勤労者支援事業	産業振興課	177,357	
		計	177,357	

補足事項

ワーク・ライフ・バランス推進企業懇談会は、新たに令和3年度に設置

⑧ 企業誘致、オフィス誘致の推進

- (1) リニアの発生土を活用した新産業団地の整備と、他部署と連携し企業の事業・誘致活動に資するインフラ等の研究を進めます。

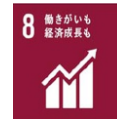
地域の強みである「エス・バード」の機能等を活かしながら、コロナ禍における地方移転の動きをとらえた

- (2) 本社機能やサテライトオフィスをはじめ、企業・研究機関等の誘致に向けた受け皿づくりと誘致活動に取り組みます。【基本目標2にも掲載】

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)	産業用地整備事業	工業課	105,956	
(2)	企業誘致・立地促進事業	工業課	44,271	基本目標2小戦略③
(2)	環境技術開発センター運営事業	工業課	5,364	基本目標2小戦略③
		計	155,591	

補足事項

(2)KPI:企業誘致数(社)



基本目標	2 飯田の魅力を発信し、つながる人を増やし、飯田市への人の流れをつくる
戦略 (考え方)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 交流人口、関係人口の拡大を目指し、飯田のブランド力を向上する様々な取組を支援するとともに、飯田の魅力を市民と共有しつつ、地域外の方々に認知し共感していただくための情報発信を展開します。 ◆ 暮らしと交流のステージである中心市街地の魅力を磨き、空き店舗の活用を始め、既存のストックを生かした「歩く人が中心の賑わいのあるまち」づくりを進め、関係人口の増加を目指します。 ◆ 高校生や大学生と地元企業とを「つなぐ」事業を推進し、地域と若者の関係を深め、地元企業の人材確保をサポートし、若者の回帰定着を進めます。 ◆ 地域の魅力や実現可能なライフスタイルを発信するとともに、職・住・暮らしの個別相談、地域の受入環境づくり、移住後の支援を行い、移住定住を推進します。 ◆ 各地区が特徴を生かして交流人口・関係人口・移住者の増加を目指す「20地区田舎へ還ろう戦略」を、地域と行政が協働して進めます。

進捗状況確認指標、重要業績評価指標 (KPI)

指標(単位) 把握方法	基準	進捗			目標
	R1	R3	R4	R5	R6
① VisitIIDA.comサイトユーザー数(ユーザー)	461				1,000
② IIDA2027ツイッターフォロワー数(人)	1,998				3,000
③ 中心市街地の歩行者・自転車通行量(人/日)	(H30) 9,475				10,215
④ 新規高卒者の地域内就職率(%)	20.60				25.00
⑤ 新規大学等卒業者の地域内就職率(%)	18.20				25.00
⑥ 高等教育機関の学生に情報発信できるインターンシップ受入企業数(社)	(R2) 20				40
⑦ 「つなぐ」事業のSNSフォロワー等の数(人)	(R2) 700				1,700
⑧ 新規移住相談件数(件)	233				280
⑨ UIターン移住者数(人)	114				136
⑩ 「20地区田舎へ還ろう戦略」で関係人口拡大の取組を行った地区数(通常ベースの活動は除く)(地区)	13				20

小戦略(具体的な取組)及び戦略的事務事業

① 飯田のブランド力を高めプロモーション活動を展開
<ol style="list-style-type: none"> (1) 飯田のブランド力の向上につながる様々な取組を支援し、ブランディングの担い手としての意識・意欲を高め広げていきます。 (2) 飯田の様々な魅力を市民と共有し、地域外の方々にその魅力を認知し共感していただくための発信ツールを制作します。 (3) 東京オリンピック・パラリンピックに限らず有効な機会を活用して、飯田を知って、関心を持っていただけるプロモーション等を展開します。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)(2)(3)	IIDAブランド推進事業	IIDAブランド推進課	10,347	基本目標13小戦略④
(2)	公立保育所管理運営事業	子育て支援課	604,640	基本目標6小戦略④
		計	614,987	

② 中心市街地の賑わいのある街づくり

- (1) 飯田駅周辺のにぎわい、交流・暮らしの支援機能の核となる(仮称)飯田駅前プラザの整備支援を行うほか、桜並木・りんご並木などの資源・資産を活かした場づくり、にぎわいづくりを進めます。
- (2) 民間企業と連携したデジタル技術の活用による新たな魅力・サービスづくりを進め、歩き、集い、巡るにぎわいのある街づくりに取り組みます。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)(2)	中心市街地活性化推進事業	商業・市街地活性化課	408,036	
(2)	りんご並木活性化事業	商業・市街地活性化課	3,663	
(1)	にぎわい創出店舗活用事業	商業・市街地活性化課	1,500	
(1)	商業活性化総合支援事業	商業・市街地活性化課	3,314	
(1)	防災・安全対策事業	土木課	853,156	基本目標12小戦略⑤
(1)	公民館改修事業	公民館	35,832	基本目標4小戦略⑤
		計	1,305,501	

補足事項

- ・新規出店数:年平均3店舗から年平均6店舗にする。
- ・商業活性化総合支援事業については、事務事業中のまちなか回遊と商店街等活動事業が小戦略に該当する。

③ 「結い」によるUターン・Iターン移住定住の推進

- (1) 高校生が地元企業と関わる機会を創出し、緩やかな関係性の中で、双方の理解が深まる「つなぐ」事業の取組を拡充します。
- (2) 地元企業のインターンシップ受け入れ活動を支援し、活発化させることにより、大学等卒業生の地元企業への就職を促進します。

地域の強みである「エス・バード」の機能等を活かしながら、コロナ禍における地方移転の動きをとらえた
- (3) 本社機能やサテライトオフィスをはじめ、企業・研究機関等の誘致に向けた受け皿づくりと誘致活動に取り組みます。【基本目標1にも掲載】
- (4) 対面とオンラインによる手法を組み合わせる移住のための相談支援を行います。
- (5) 市内事業所の求人開拓と移住希望者の希望とのマッチングを図り、職の確保と雇用促進につなげます。
- (6) 事業者及び地域と連携した空き家バンクの充実と一般物件の情報提供を行い、住まいの確保を支援します。
- (7) 地域及び先行移住者等と連携し、移住者の受入れ及び定着のための暮らしの支援を行います。
- (8) テーマ型セミナーや体験事業の実施、つながりの鍵となる人材の発掘、ゲストハウス等での情報発信機能の充実を図り、関係人口の開拓に向けた取組を進めます。

20地区が主体となって、地域の魅力と資源を活用して住民の地域への愛着や誇りを高め、それを土台に
- (9) 地域外からの交流人口、関係人口を増やして移住・定住へとつなげていく「20地区田舎へ還ろう戦略」の取組を推進します。【基本目標9にも掲載】

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)(2)	雇用対策事業	産業振興課	2,923	
(2)	大学とのネットワーク構築事業	企画課	6,941	基本目標4小戦略②③
(2)	人材育成事業	工業課	11,708	基本目標1小戦略①③④
(3)	企業誘致・立地促進事業	工業課	44,271	基本目標1小戦略⑧
(3)	環境技術開発研究センター運営事業	工業課	5,364	基本目標1小戦略⑧
(4)～(9)	移住定住推進事業	結いターン移住定住推進室	15,767	
(6)	総合的な空き家対策事業	ムトスまちづくり推進課	16,602	基本目標9小戦略③
(7)(8)(9)	20地区田舎へ還ろう戦略支援事業	ムトスまちづくり推進課	3,268	基本目標9小戦略①②
(7)(8)(9)	中山間地域振興事業	ムトスまちづくり推進課	43,158	基本目標9小戦略③
(7)(8)(9)	遠山郷振興事業	ムトスまちづくり推進課	24,039	基本目標9小戦略③
		計	174,041	



基本目標	3 “結いの心”に根ざす教育を実践し、豊かな心とリニア時代を生きる力を育む
戦略 (考え方)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ お互いを認め合い、安心して学べる学級づくりを目指し、子どもたちの学力の保障・向上と不登校対策のため、小中連携・一貫教育を進めます。また、コロナ禍への対応を含め、全ての教育活動を通じてICTの活用を推進します。 ◆ 日常生活における自他の尊厳を尊重する態度を育成し、互いを認め合える温かな人間関係づくりと個に寄り添った誰ひとり取り残さない教育や支援を推進します。 ◆ 飯田コミュニティスクールを活かし、地域・学校・家庭がそれぞれ当事者意識を持って協働し、地域ぐるみで子どもを育てる環境づくりを進めます。 ◆ 学校給食の地産地消、有機食材の導入拡大と、献立に地域の旬の食材や郷土食、行事食を取り入れる工夫に努めながら、学校給食を活用した食育に取り組みます。 ◆ 子どもが読書を楽しみ、感性や言葉を豊かにし、想像力、表現力や情報を活用する力をつけられるよう、乳幼児期から発達段階に応じて読書体験の充実に取り組みます。 ◆ 就労等で放課後保護者等が不在となる家庭の児童の居場所づくりのため、児童支援員の確保や適切な配置に努めるとともに、4年生以上高学年の受入希望にも対応できる組織・体制づくりを進めます。 ◆ 児童生徒の減少や学校施設の老朽化が進んでいる中で、地域に根差した飯田らしい教育環境が展開され、将来にわたり子どもたちが主体的に学び合う場とするためには、どのような学校がよいのか、子どもたちの未来のため、みんなで考えていきます。 ◆ 児童生徒が安心・安全に学校生活を送ることができるよう、通学路安全対策や環境整備を進めるとともに、気候変動に適応した校外活動に取り組みます。

進捗状況確認指標、重要業績評価指標 (KPI)

指標(単位) 把握方法	基準	進捗			目標
	R2	R3	R4	R5	R6
① 全国学力・学習状況調査における小6国語、算数、中3国語、数学の全国平均比較 (◎…≥+2点、○…+2点>-2点、△…≤-2点)	小6国○ 算数○ 中3国△ 数学△ (R1)				小6国語○ 算数○ 中3国語○ 数学○
② 全国学力・学習状況調査における「自分には良いところがあると思いますか。」に対する回答結果の全国平均差(点)	小6年△1 中3年△3 (R1)				小6年 ±0 中3年 ±0
③ 不登校児童生徒在籍比	小 0.87% 中 3.91% (R1)				前年度以下
④ 学校給食における飯田下伊那産野菜主要10品目利用率	54.1% (R1)				55.0%
⑤ 授業以外に1日10分以上読書をしている児童生徒割合	小6-67.1% (県69.0%) 中3-55.6% (県57.1%) (R1)				県平均以上

小戦略(具体的な取組)及び戦略的事務事業

① 学力保障・学力の向上

- (1) 学力向上の基盤となる「自分の良いところを自覚し、互いを認め合える」集団・学級づくりを、すべての小中学校でめざします。
学力向上「結い」プラン(ねらい、めりはり、みとどけ)に基づく授業づくりを徹底し、ねらいに向かって主体的に取り組む様子を、子どもたちの具体的な変容の姿でとらえ、小中連携・一貫教育推進委員会で共有し、各校に横展開していきます。また、自ら考え取り組む家庭学習を目指し、家庭学習の改善に取り組みます。
- (2) 一人一台の学習者用端末を使用し、一人ひとりの考えをクラス全員が共有することを位置づけた授業の展開と、休校時にはつながりと学びを大切にしていきます。また、ICTの活用にあたっては、子どもたちが安心・安全に使えるように、専門家の意見を聞きながら活用する力を高めていきます。
- (3) 全ての教育活動を通じて、読解力を高めることを意識した授業づくりに向けて研究を進めます。
- (5) 小中学校の外国語を担当する教員の指導力向上を図り、ALTと協働したりICTを活用し、言語活動を重視した、児童生徒が主体的に学ぶ授業づくりに取り組みます。

小戦略(番号)	事務事業名	主管課	当初予算(千円)	備考
(1)(2)(4)	人間関係づくり支援事業	学校教育課	26,930	②人間関係づくり
(1)(2)(4)	学力向上推進事業	学校教育課	45,288	
(1)(2)	小中連携・一貫教育推進事業	学校教育課	1,079	⑦少子化における教育環境の充実
(3)	ICT教育推進事業	学校教育課	201,146	
(3)	情報モラル教育推進事業	学校教育課	1,320	
(5)	外国語教育推進事業	学校教育課	38,492	
		計	314,255	

② 温かな人間関係づくりと誰ひとり取り残さない教育や支援

- (1) 互いを認め合え、困っている人には手を差し伸べる温かな人間関係の集団づくりに取り組むため、学級づくりの支援を行ったり、中学校区毎に研修会を開催したりします。
- (2) 教室になじめない児童生徒のために、個々の実態に合わせ、校内中間教室の他、公民館や民間施設等を含めた多様な場で学習する機会をつくれます。
- (3) いじめの発見に努め、迅速かつ組織的に対応します。また児童虐待の早期発見に努めます。
- (4) 特別な支援が必要な子どもについて、支援員を増員して支援するとともに、より多様化する子どもたちの支援に対応するために、教職員の特別支援教育に関する研修を行います。
- (5) 経済的理由により子どもたちの学習の機会が制約されることのないよう支援します。

小戦略(番号)	事務事業名	主管課	当初予算(千円)	備考
(1)(2)(3)	人間関係づくり支援事業	学校教育課	26,930	①学力保障・学力向上
(4)	特別支援教育支援事業	学校教育課	79,041	基本目標10小戦略③
(5)	就学援助等事業	学校教育課	119,565	
		計	225,536	

③ 飯田コミュニティスクールを活かした地域・学校・家庭での教育の推進

- 「めざす子ども像」の実現に向け、地域・学校・家庭が学校運営協議会で課題を共有し、それぞれの役割を提案・相互承認し、連携して取り組みます。また、三者が取り組む「いいだCS協働活動」を支援するとともに地域に向けて発信し、横展開を図ります。
- (2) 家族と一緒に過ごすひと時を大切にする「わが家の結いタイム」の取組について、学校運営協議会でも協議、共有し、家族のふれあいを推進します。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)	飯田コミュニティスクール推進事業	公民館	2,452	⑧防犯・通学路の安全対策
(2)	わが家の結いタイム推進事業	生涯学習・スポーツ課	108	
		計	2,560	

④ 食育の推進

- (1) 地域の旬の食材を楽しみ、安心安全な給食提供のために、学校給食における地元産野菜利用率の向上に努めます。
- (2) 学校給食の献立に、郷土食、行事食を取り入れる工夫をします。また「食育の日」を設け、栄養士、調理員と連携し、食の大切さを児童生徒に伝えます。
- (3) 有機野菜の導入に向けて、事業所、農家、関係機関等との意見交換を始めます。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)(2)(3)	学校給食運営事業	学校教育課	329,791	
		計	329,791	

⑤ 子どもの読書活動の推進

- (1) はじめまして絵本プレゼントやセカンドブックプレゼントなどにより、乳幼児期の読みきかせを通じた親子のふれあい体験や幼児が絵本や物語を楽しむ機会を増やします。
- (2) 小学生が本に関心を持ち自発的な読書が行えるよう支援し、読書習慣の定着を図ります。また図書館等を使って情報を収集し、選択・活用する力を、小中学校を通して段階的に育みます。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)(2)	子ども読書活動推進事業	中央図書館	8,780	
(2)	学校教育振興事業	学校教育課	161,367	基本目標5小戦略⑥
		計	170,147	

⑥ 児童の放課後の居場所づくり

- (1) 施設や備品等の整備や児童支援員の確保など、児童を受け入れる環境づくりを進めます。
- (2) 4年生以上高学年の受入希望については、学校運営協議会等とも相談しながら、学校の複合利用も含め地域に合った組織・体制づくりを検討していきます。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)(2)	児童館・児童センター・児童クラブ運営事業	学校教育課	144,317	
(1)(2)	放課後子ども教室設置運営事業	学校教育課	3,388	
		計	147,705	

⑦ 少子化における児童生徒の教育環境の充実に向けた取組

- 飯田が大切にしてきた飯田らしい教育活動やこれからの時代の変化を踏まえた、複数の事例や考え方を
 (1) 紹介する「飯田市教育委員会からの提案」について、学校運営協議会や保護者、まちづくり委員会、公民館、学校関係者などとの意見交換を行い、指針としてとりまとめを進めます。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)	小中連携・一貫教育推進事業	学校教育課	1,079	①学力保障・学力向上
		計	1,079	

⑧ 防犯・通学路の安全対策・環境整備・気候変動適応

- (1) 飯田市通学路安全対策アクションプログラムに基づく通学路の安全対策や安全指導などを進めます。
- (2) 不審者や事件など情報を、学校や家庭、地域、関係機関等と速やかに共有するとともに、児童生徒の安全を確保するために必要な対応を実施します。
- (3) 小中学校のトイレの洋式化や中学校特別教室等に空調設備を整備するとともに、施設・設備の計画的改修を進めます。またWBGT計を活用した熱中症対策など、気候変動を踏まえた対策を徹底します。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)(2)	飯田コミュニティスクール推進事業	公民館	2,452	③飯田コミュニティスクールを活かした教育の推進
(3)	小学校施設改修事業	学校教育課	172,785	
(3)	中学校施設改修事業	学校教育課	534,400	
		計	709,637	

補足事項

1 進捗状況確認指標または重要業績評価指標 (KPI)指標について

- ・①、②は、全国平均より低い部分について全国平均を目指します。
- ・③の不登校については、学校に馴染めない児童生徒の多様な場での学びも認め、個々に寄り添った対応が大切と考えますが、不登校児童生徒数の減少も一つの指標であると考え、在籍比前年度以下を目標とします。
- ・④の飯田下伊那産野菜主要10品目は、人参、ほうれん草、小松菜、ピーマン、トマト、キャベツ、キュウリ、タマネギ、ジャガイモ、アスパラガスです。市独自の指標であるため県や国の平均数値はありませんが、国が公表している「学校給食における地場産物を使用する割合」の全国平均が、H30年度26.0%であるため、現状の5割を超える率は高い数値となっており、同程度以上を維持することを目標とします。
- ・⑤は、普段(月曜日～金曜日)1日10分以上読書している割合。全国平均には達しているため、県平均以上を目指します。

2 補足指標

指標(単位) 把握方法	基準	進捗			目標
	R2	R3	R4	R5	
全国学力学習状況調査国語、算数、数学の同一集団の小6から中三の伸び(全国平均差)	国語 -4点 算数・数学 -3点 (R1)				全国平均
全国学力学習状況調査「英語(外国語)の勉強が好き」の割合(全国平均差)	中 -8点 (R1)				全国平均
家で自分で計画を立てて勉強していますかの割合(全国平均差)	小 -4点 中 -3点 (R1)				全国平均
全国学力学習状況調査でICT機器の使用頻度「ほぼ毎日」の割合	小 14% 中 8% (R1)				小・中 28%
いじめ解消率	86.6% (R1)				前年度以上
副学籍による交流及び共同学習の実施率	51.0% (R1)				前年度以上
要保護・準要保護の割合	小 12.0% 中 13.6% (R1)				目標数値は設けない
全国学力学習状況調査「人が困っている時に進んで手伝いますか」の割合(全国平均差)	小 -2点 中 -2点 (R1)				全国平均
全国学力学習状況調査「家の人と学校での出来事について話をする」割合(全国平均差)	小 -2点 中 +2点 (R1)				全国平均
郷土食、行事食の献立の回数(調理場調べ)	毎月1回以上 (R1)				毎月1回以上
全国学力学習状況調査「国語で目的に応じて文章を読んで考えたりしている」の割合(全国平均差)	小 +1点 中 -3点 (R1)				全国平均

- * 全国学力学習状況調査の指標は、R2年度は調査が行われなかったため、R1年度の数値を基準とします。
- * 年度途中等により数値が未確定の指標は、R1年度数値を記載しています。
- * ICT機器の使用頻度については、小中とも、R1年度小学校数値の2倍の率を目指すことを目標とします。



基本目標	4 豊かな「学びの土壌」を活かした「学習と交流」を進め、飯田の自治を担い、可能性を広げられる人材を育む
戦略 (考え方)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 住民の自治の力を高め、地域の担い手を育むため、住民の主体的な「地域の自然や文化などの地域資源を生かした学習や地域の課題解決に向けた学習」を支援します。 ◆ LG(地域・地球)飯田教育の理念や地育力を活用した環境学習、ふるさと学習、体験学習等を幼児期から高校まで体系立て、子どもの主体性、創造性、社会性、協調性、課題解決力などを育み、多様な自己実現の可能性を広げます。 ◆ 飯田の価値と魅力を学び次代に繋げると共に、その素晴らしさを発信します。 ◆ 民俗芸能などの伝統文化や恒川官衙遺跡、飯田古墳群、名勝天龍峡などの地域資産を地域の宝として守り、発信します。 ◆ 誰もが安全で快適に利用できる社会教育施設の整備やサービスを向上させます。

進捗状況確認指標、重要業績評価指標 (KPI)

指標(単位) 把握方法	基準	進捗			目標
	R2	R3	R4	R5	R6
① 住んでいる地区や飯田市の自然、歴史、文化等に誇りや愛着がある人の割合	69.2% (R1)				74.3% 前期4年の基準 年H27の数値
② 地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある (全国学力・学習状況調査) (高校生についてはR3に把握し改めて目標設定する)	小6 55.9% (県 57%) (国 54.5%) 中3 40.0% (県 43.9%) (国 39.4%) 高 ー (R1)				県平均以上
③ 人の役に立つ人間になりたいと思う (全国学力・学習状況調査) (高校生についてはR3に把握し改めて目標設定する)	小6 95.5% (県95.3%) (国95.2%) 中3 95.0% (県94.8%) (国94.3%) 高 ー (R1)				現状を維持
④ 地域資源(指定文化財等)の活用件数	41 (R1)				50 指定文化財数の 1/4
⑤ 霜月祭・伝統人形芝居の保存会員数	202				現状を維持

小戦略(具体的な取組)及び戦略的事務事業

① 住民の主体的な学びあいの支援
<p>(1) 飯田市民大学、天龍峡夏期大学、地域史研究集会、読書会、公民館各種講座など市民の主体的な運営による多様な学び場や、地域課題解決を目指す学習活動の支援を行います。</p> <p>(2) 多様な価値観を認め合う社会を実現するため多文化共生を進める活動や平和学習、人権教育を推進します。</p>

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(2)	平和学習・人権教育推進事業	生涯学習・スポーツ課	1,012	基本目標10小戦略②
(1)	文化財保護事業	生涯学習・スポーツ課	22,988	
(1)(2)	多様な学習交流活動	公民館	12,480	
(1)	歴史研究所事業	歴史研究所	14,851	
(1)	図書館事業	中央図書館	272	
(1)	図書購入・提供事業	中央図書館	56,167	
(1)	美術博物館教育普及・活動支援事業	美術博物館	4,580	
		計	112,350	

② 子どもの主体性、創造性、社会性、協調性、課題解決力などを育む学習の展開

- (1) 豊かな自然環境や地域資源を生かした飯田型キャリア教育をESD(持続可能な社会づくりのための教育)の理念で整理し体系化して進めます。

各高校の実情を踏まえ、高校生の地域人教育を展開するとともに高校生の学びに小中学生が関わる機会を検討していきます。
また、学輪IIDAのフィールドスタディに参加する高校生の地域での学びを支援します。
- (2)
- (3) 幼児期から高校まで、地域社会と学校教育が連携した取組みについて整理し、必要な連携を強化し、一貫した人材育成がなされるよう展開します。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)(2)	乳幼児親子学習交流支援事業	公民館	1,143	基本目標6小戦略③
(1)(2)	高校生等次世代育成事業	公民館	1,481	
(1)(2)	飯田コミュニティスクール推進事業	公民館	2,452	
(1)(2)	飯田型キャリア教育推進事業	学校教育課	5,334	
(3)	地育力向上連携推進事業	生涯学習・スポーツ課	1,991	
(1)(2)	大学とのネットワーク構築事業	企画課	6,941	基本目標2小戦略③
		計	19,342	

③ 飯田の価値と魅力の学びと発信

- (1) 地域の自然と文化や先人の営みなどを明らかにする学術研究を学輪IIDA等の地域外の知見も活用しながら進めます。また、様々な技術を活用し魅力ある展示や講座により研究成果を地域に還元するとともに、SNSなど活用しながら飯田の魅力として発信します。

歴史研究所、美術博物館、図書館、公民館等の関係機関が連携して、研究成果の出前講座を実施するとともに市民の地域史等の研究活動を支援します。また、小中高などへの研究成果の出前講座を通じて、飯田の価値と魅力を伝えます。
- (2)
- (3) 上郷考古博物館を「展示(ガイドンス)」、「調査研究」、「市民活動支援」の3つの機能を統合させた文化財保護活用の中核拠点として活用します。
- (4) 学輪IIDA等の飯田に集まる多様な地域外の知と、地域に蓄積されている知を、市民や研究者が学び合え、交流できる機会を創出します。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)	文化財保護事業	生涯学習・スポーツ課	22,988	
(3)	埋蔵文化財調査事業	生涯学習・スポーツ課	11,873	
(3)	飯田古墳群保存活用事業	生涯学習・スポーツ課	2,400	
(3)	恒川遺跡群保存活用事業	生涯学習・スポーツ課	40,108	
(2)(4)	多様な学習交流活動	公民館	12,480	基本目標10小戦略③ 基本目標11小戦略⑤
(1)(2)(4)	歴史研究所事業	歴史研究所	14,851	
(2)(4)	図書館事業	中央図書館	272	
(1)	美術博物館教育普及・活動支援事業	美術博物館	4,580	
(1)	美術博物館展示公開事業	美術博物館	30,793	基本目標5小戦略②
(1)	美術博物館プラネタリウム運営事業	美術博物館	13,242	
(1)(2)(4)	大学とのネットワーク構築事業	企画課	6,941	基本目標2小戦略③
		計	160,528	

④ 伝統文化、文化財の保存・継承・活用の推進

- (1) 地域にある文化財の魅力や価値を市民が学ぶ活動を支援するとともに、誇るべきものとして継承し活用する活動を支援します。また、活用について点から線、線から面への展開ができるよう取り組みます。
- (2) 南信州民俗芸能継承推進協議会との協働連携や各保存会への活動支援を通じて、遠山霜月祭、伝統人形芝居、獅子舞などの魅力発信と後継者育成に努めます。また、遠山の霜月祭のユネスコ無形文化遺産登録に向けた市民の取り組みを支援します。
- (3) 名勝天龍峡・恒川官衙史跡公園整備事業を通じた「2000年浪漫の郷」づくり・史跡飯田古墳群の活用において、学習会や体験ツアーを開催するとともに、市民ガイドなど市民自ら発信できるよう取り組みます。
- (4) 遠山郷土館、ねぎや・天伯の展示を見直し、学習交流活動の場としての活用を検討します。また、遠山川の埋没林など、遠山郷の魅力の発信に努めます。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)(2)(3)	文化財保護事業	生涯学習・スポーツ課	22,988	
(3)	恒川遺跡群保存活用事業	生涯学習・スポーツ課	40,108	
(3)	飯田古墳群保存活用事業	生涯学習・スポーツ課	2,400	
(1)(2)(3)(4)	多様な学習交流活動	公民館	12,480	
(1)(2)	人形劇のまちづくり事業	文化会館	46,787	基本目標5小戦略① 基本目標10小戦略③
(1)(2)	美術博物館資料調査研究・収集保管事業	美術博物館	14,659	
(1)(4)	上村山村文化資源保存伝習施設管理運営事業	美術博物館	3,102	
(1)(4)	南信濃民芸等関係施設管理運営事業	美術博物館	4,488	
		計	147,012	

⑤ 社会教育施設の整備、サービス向上

- (1) 地域コミュニティの拠点である公民館や、美術博物館、図書館など社会教育施設の計画的な改修・整備を進めます。
- (2) オンラインで公民館、文化会館の予約確認から使用料決済まで完結できるシステムへの移行を進めます。
- (3) 飯田市公民館の(仮称)飯田駅前プラザ移転について市民の皆さんの意見を聞きながら進めるとともに橋南公民館の地域交流センター(りんご庁舎)への移転に向けて調整を図ります。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)	文化財保護事業	生涯学習・スポーツ課	22,988	
(1)	公民館維持管理事業	公民館	134,779	
(1)(2)(3)	公民館改修事業	公民館	35,832	基本目標2小戦略②
(1)	図書館管理運営事業	中央図書館	61,657	
(1)	美術博物館管理事業	美術博物館	76,155	
(2)	文化会館等管理運営事業	文化会館	119,907	基本目標5小戦略③
		計	451,318	

補足事項

(指標や事務事業に関すること)

①住民の主体的な学びの支援

指標(単位) 把握方法	基準	進捗			目標
	R2	R3	R4	R5	R6
社会教育関係団体数	1,174				現状維持
市民主体の各種講座・学級・教室への参加者数(R1)	45,562				現状維持
地域の研究団体等調査支援数(R1)	調査中				—
市民意識調査(R1) 住んでいる地域や周辺に他地域から移住者(外国人を含む)が来ることについてどう考えますか	77.5				80%

②子どもの主体性、創造性、社会性、協調性などを育む学習の展開

指標(単位) 把握方法	基準	進捗			目標
	R2	R3	R4	R5	R6
各種講座や学習活動への参加者数(R1) (乳幼児・子ども対象・CS事業)	18,060				現状維持
今住んでいる地域の行事に参加している(R1) (全国学力・学習状況調査) (高校生についてはR3に把握し改めて目標設定する)	小6 88.2% (県89.5%) (国68%) 中3 73.4% (県70.5%) (国50.6%) 高校 —				小6 93% 中3 78% 高校 —

③飯田の価値と魅力の学びと発信

指標(単位) 把握方法	基準	進捗			目標
	R2	R3	R4	R5	R6
飯田の価値と魅力の情報発信数(R1)	830				840 H29～R1の平均
美術博物館来館者数(R1)	44,442				45,000
収蔵物や地域所在の資料を調査研究し発表した件数(R1)	217				220 現状維持
調査研究に関する市の刊行物及び発表した論文数(R1)	20件				20件 現状維持

地域を学ぶ専門的な講座参加者数(R1)	8,806				現状維持
考古博物館を利用した文化財活用の取組(回数)	—				7

④伝統文化、文化財の保存・継承・活用の推進

指標(単位) 把握方法	基準	進捗			目標
	R2	R3	R4	R5	R6
指定文化財数(累計)(R1)	189				200
史跡名勝を活用したツアー(人・回)(R1)	44・2				60・3
霜月祭の保存伝承活動回数(R1)	90				現状維持
伝統人形芝居の保存伝承活動回数(R1)	9				現状維持

⑤社会教育施設の整備、サービス向上

指標(単位) 把握方法	基準	進捗			目標
	R2	R3	R4	R5	R6
社会教育施設の利用者数(R1)	957,028				1,000,000 H30年の利用者数
長寿命化及び機能向上の改修をした施設数	0				検討中

基本目標	5 文化・スポーツを通じて人と地域の輝き・うるおいをつくる
戦略 (考え方)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 人形劇の公演・創造活動を楽しみ、その魅力を発信するとともに、「人形劇のまち」を改めて強くアピールし、国内外との交流を進めます。 ◆ 多様な文化芸術の鑑賞機会や文化芸術活動の取組の充実を進めます。 ◆ 飯田市の文化芸術活動の拠点施設としての新文化会館の建て替えに向けた検討を進めます。 ◆ 市民の様々なスポーツ活動を支援し、発信するとともに、スポーツや運動習慣の定着と、スポーツを通じたコミュニティづくりを進めます。また、飯田市の特徴を活かしたスポーツイベントを開催します。 ◆ トップアスリートの指導やプレーに触れる機会、スポーツ指導者の育成などを通じて、競技スポーツ人口を拡大し競技志向を高めます。また、地域でトップアスリートを育てることが出来る取組を目指します。 ◆ 全市型競技別スポーツスクールなど中学生期におけるスポーツの多様な選択肢を充実します。 ◆ 誰もが安全で快適に利用できるスポーツ施設の整備やサービスを向上させます。

進捗状況確認指標、重要業績評価指標 (KPI)

指標(単位) 把握方法	基準	進捗			目標
	R2	R3	R4	R5	R6
① 市内で上演した人形劇公演数	498 (R1)				500
② 人形劇を通じて交流した国内外の交流数(回)	11 (R1)				15
③ 文化活動を1回以上行っている人の割合(%)	63.9 (R1)				65.00
④ 社会教育団体(文化・芸術・芸能活動)申請登録会員延べ数(人)	7,692				8,000
⑤ 成人の週1回以上スポーツに親しむ人の割合(%)※「スポーツ」自体の定義や、スポーツ文化の浸透度合いなど、市民意識調査の項目をR3に見直し予定。それに伴い、目標値も適切に設定。	48.2% (R1)				-
⑥ 子どもの体力・運動能力調査におけるA・Bの割合	38.5% (R1)				全国値以上 (R1:43.2%)
⑦ 全市型競技別スポーツスクールの種目数	13				16

小戦略(具体的な取組)及び戦略的事務事業

① 「人形劇のまちづくり」の推進
<ul style="list-style-type: none"> (1) みんなが仲間として参加できるいい人形劇フェスタの開催に向けた支援をします。 (2) 市民が年間を通じて人形劇を観劇したり、竹田・川本の人形を鑑賞や体験で楽しめる機会を提供します。 (3) 学校・保育園等で行われる人形劇活動や市民が演じることを楽しむ創造活動を支援します。

- AVIAMA(人形劇の友・友好都市国際協会)の情報発信や、シャルルヴィル・メジール市など人形劇で
- (4) つながる都市市民が交流する機会づくりをオンラインツールの活用で支援し、その取組を広く発信していきます。
- (5) 伝承される人形浄瑠璃を保存、継承するための活動を支援します。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)(2)(3)(4)(5)	人形劇のまちづくり事業	文化会館	46,787	基本目標4小戦略④ 基本目標10小戦略③
(2)	竹田人形館管理運営事業	文化会館	9,118	
(2)	川本人形美術館管理運営事業	文化会館	29,538	
		計	85,443	

② 文化・芸術の鑑賞や市民の主体的な文化芸術活動の展開を支援

- (1) 「菱田春草」没後110年を記念し作品の魅力を紹介します。
- (2) あらゆる年代の市民が多様な舞台芸術を鑑賞する機会を設けます。
- (3) 市民が取り組む舞台芸術の創造活動を支援します。
- (4) オーケストラと友に音楽祭、伊那谷文化芸術祭など市民が舞台芸術を鑑賞し、自ら発表できる機会を支援します。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)	美術博物館展示公開事業	美術博物館	30,793	基本目標4小戦略③
(2)(3)(4)	文化会館文化芸術事業	文化会館	19,512	
		計	50,305	

③ 新たな文化芸術活動の拠点づくり

- (1) 新文化会館の建て替えは、「十分な駐車場を確保できる」ことを前提条件として、交通アクセス、周辺環境などを踏まえて、建設適地の検討を進めます。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)	文化会館等管理運営事業	文化会館	119,907	基本目標4小戦略⑤
		計	119,907	

④ 市民のスポーツ活動・コミュニティづくりの支援、スポーツイベントの開催

- (1) スポーツ推進員と公民館が核となり、コミュニティスポーツの推進やサークル活動等の育成を進めます。
- (2) 保育園・幼稚園等でのコーディネーショントレーニングプログラムや学校での一校一運動に取り組みます。また、高齢者がいきいきと安全に過ごせるための運動・スポーツの機会を拡充します。
- (3) 多くの市民が参加できる飯田やまびこマーチや風越登山マラソンの開催に取り組みます。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)(2)(3)	市民スポーツ推進事業	生涯学習・スポーツ課	10,106	
		計	10,106	

⑤ 競技スポーツ人口の拡大と競技志向の向上

- (1) スポーツ教室を始めとしたトップアスリートとの交流の場など、飯田市スポーツ協会や民間スポーツクラブと連携し、競技スポーツへの関心を高める取り組みを進めます。
- (2) 飯田市スポーツ協会や民間スポーツクラブと連携し、地域でトップアスリートを育てることができる取組と、競技者の将来を見据えた指導ができる指導者の育成を進めます。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)(2)	競技力向上支援事業	生涯学習・スポーツ課	10,629	
		計	10,629	

⑥ 中学生期の多様なスポーツ環境の充実

- (1) 民間スポーツクラブ、地域のスポーツクラブに加え、全市型競技別スポーツスクールを実施し、中学生期のスポーツの選択肢を充実します。
- (2) 中学校の部活動の在り方については、取組状況や実態を把握するとともに、生徒・保護者・教職員・指導者ら関係者の意見を踏まえ、必要に応じて指針の見直しを行います。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)	競技力向上支援事業	生涯学習・スポーツ課	10,629	うち2248千円
(2)	学校教育振興事業	学校教育課	161,367	基本目標3小戦略⑤
		計	171,996	

⑦ スポーツ施設の整備、サービス向上

- (1) 市民がスポーツ施設を安全で快適に利用できるために、計画的に改修工事を進めます。また、グラウンドの芝生化についての検討を進めます。
- (2) オンラインで予約確認から使用料決済まで完結できるシステムへの移行を進めます。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)(2)	体育施設等維持管理・整備事業	生涯学習・スポーツ課	185,974	
		計	185,974	

補足事項

補足指標

①「人形劇のまちづくり」の推進

指標(単位) 把握方法	基準	進捗				目標
	R2	R3	R4	R5	R6	
人形劇フェスタ参加証の販売数	12,028(R1)				12,500	
飯田で上演した人形劇の観劇者数	17,056(R1)				18,000	
川本人形美術館の入館者数	16,567(R1)				20,200	
竹田人形館の入館者数	3,681(R1)				3,800	

②文化・芸術の鑑賞や市民の主体的な文化芸術活動の展開を支援

指標(単位) 把握方法	基準	進捗			目標
	R2	R3	R4	R5	R6
美術博物館の展覧会、市民ギャラリーの観覧数	49,758(R1)				50,000
舞台芸術の鑑賞会実施回数及び市民の文化芸術発表会の実施回数	69(R1)				70

④市民のスポーツ活動・コミュニティづくりの支援、スポーツイベントの開催

指標(単位) 把握方法	基準	進捗			目標
	R2	R3	R4	R5	R6
飯田やまびこマーチの市民参加者数	3,847(R1)				4,000
風越登山マラソン大会の市民参加者数	268(R1)				500
スポーツ推進委員の活動回数(講習会指導等)	135(R1)				150

⑤競技スポーツ人口の拡大と競技志向の向上

指標(単位) 把握方法	基準	進捗			目標
	R2	R3	R4	R5	R6
スポーツ講習会参加者数	13,905(R1)				15,000
スポーツ大会参加者数	3,934(R1)				4,500

⑦スポーツ施設の整備、サービス向上

指標(単位) 把握方法	基準	進捗			目標
	R2	R3	R4	R5	R6
体育施設年間利用者数(人)	448,615(R1)				460,000
長寿命化及び機能向上の改修をした施設数	0				検討中



基本目標	6 結婚・出産・子育ての希望をかなえる
戦略 (考え方)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 結婚し家庭を持ちたい希望の実現に向けて、各種の出会いの機会の創出を図るとともに、結婚相談などのサポートを強化します。 ◆ 産み育てたいと思う子どもの数の希望の実現に向けて、分娩の選択肢の多様化に伴う体制の整備や産後ケアの充実を図るとともに、不妊治療に対する助成を強化します。 ◆ 児童虐待の予防・早期発見・総合的支援を行うとともに、発達に偏りのある児童の子育て相談支援を充実します。 ◆ コロナ禍において一層懸念される「孤」育てを解消するため、父親、祖父母などの家族をはじめ、地域のあらゆる世代が地域の子育てに参加できる仕組みづくりを推進するとともに、家族みんなで楽しむ子育て情報発信の強化を図ります。 ◆ 産休・育休後の職場復帰の希望の実現に向けて、事業所における働き方改革を促します。 ◆ 共働き世帯・ひとり親世帯が安心して子育てができるよう、多様な手法を活用しつつ3歳未満児保育・保育標準時間の充実を図るとともに、スタッフの人材の確保と育成を推進します。 ◆ 豊かな自然や地域資源を活用してたくましい心と体・自己肯定感と協調性を育む「いいだ型自然保育」の魅力を発信します。

進捗状況確認指標、重要業績評価指標 (KPI)

指標(単位) 把握方法	基準	進捗				目標
	R2	R3	R4	R5	R6	
① 婚姻件数(件)	470 (R1)					500
② 出生数(人)	726 (R1)					654
③ 合計特殊出生率	1.75 (R1)					1.84
④ 乳幼児健診・乳幼児相談の受診率(%)	95.8% (R1)					96.0
⑤ 産後の指導・ケアを十分に受けることが出来たと回答する人の割合(%)	93.4% (R1)					95.0
⑥ 未満児保育(0-2歳児)の受入れ数(人) [毎年12月末日現在]	1,256					1,294
⑦ 信州やまほいく認証施設数(園)	23					25
⑧ 産みやすいまちだと思ふ人の割合(%)	36.60% (R1)					40.0
⑨ 育てやすいまちだと思ふ人の割合(%)	69.70% (R1)					71.0

小戦略(具体的な取組)及び戦略的事務事業

① 結婚の希望をかなえる
<ul style="list-style-type: none"> (1) 結婚したいと思う若者の自分磨きを支援するとともに、地域でのマッチングイベントや移住を希望する方を対象とした出会いの機会を創出し、婚姻件数の増加を目指します。 (2) 出会いの創出から成婚までを支援する結婚相談員のお見合い活動を支援します。 (3) 近い将来、進学や就職などの大きな選択をする地域の高校生に、今後の生き方について考えてもらうライフデザインの啓発事業を実施します。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)(2)(3)	ともに未来を支え合うパートナーづくり 事業	福祉課	11,187	
		計	11,187	

② 出産の希望をかなえる

- (1) 市立病院と連携した地域の産科医や助産院での健診や分娩について、選択ができるよう情報提供を行いつつ、地域での分娩機能を堅持します。
- (2) 治療における精神的・経済的な負担の軽減を図り、不妊や不育症治療への支援策を継続しつつ不妊検査・人工授精も補助対象とするよう拡充します。
- (3) 妊娠期から出産・子育て期まで寄り添う切れ目ない支援により、産後うつの予防・早期発見をし、産後のサポート体制を充実させて早期から支援をします。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)(2)(3)	不妊治療費助成事業	保健課	19,382	
(1)(2)(3)	妊産婦健診事業	保健課	109,475	
(1)(2)(3)	乳幼児保健事業	保健課	22,218	基本目標8小戦略③
(1)(2)(3)	市立病院運営事業	市立病院	-	(分娩の受入)
		計	151,075	

③ 孤立を防ぎ、子育ての希望をかなえる

- (1) 児童虐待や子育ての行き詰まりを予防し、早期発見・早期対応に努めます。また、発達に偏りのある児童の発達支援など、子育ての総合的な相談支援体制を充実します。
- (2) 地域子育て支援拠点(つどいのひろば)事業を充実します。また、オンライン型の子育て相談や子育て交流の機会をつくるとともに、地域の子を地域で育む交流の場としての役割を推進します。
- (3) 家族やママ友らとともに子どもの成長をみんなで楽しめる、子育て情報配信サービスの導入を図ります。
- (4) 事業所への産休・育休の促進など、働き方に関する意識啓発を進めます。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)(2)	地域子育て支援事業	子育て支援課	84,730	基本目標8小戦略③
(1)	児童発達支援センター事業	子育て支援課	73,196	
(3)	子ども子育て支援事業	子育て支援課	18,579	
(4)	人権・男女共同参画推進事業	男女共同参画課	3,107	基本目標10小戦略①
(2)	乳幼児親子学習交流支援事業	公民館	1,143	基本目標4小戦略②
		計	180,755	

④ 飯田の持ち味を活かし、豊かな育ちを支える

- 乳児保育、未満児保育、保育標準時間など増加する保育ニーズに応えるため、新制度など多様な手法を用いて保育施設整備を推進します。また、保育人材の確保にむけた取組を積極的に推進し、保育資格を持たない保育補助スタッフを養成するプログラムを開発・試行します。
- (1) 豊かな自然や地域資源を活用して心と体・自己肯定感と協調性を育む、「いいだ型自然保育」の動画情報などを発信し、子育て環境としてのブランド化を推進します。
- (2) 低所得者世帯やひとり親世帯など、困難さを抱える家庭の進学希望をかなえる学習支援活動を促進します。
- (3)

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)	民間保育所特別保育事業	子育て支援課	213,785	
(1)	民間保育所等施設整備事業	子育て支援課	283,445	
(1)	保育士等人材確保支援事業	子育て支援課	32,477	
(2)	公立保育所管理運営事業	子育て支援課	604,640	基本目標2小戦略①
(3)	ひとり親家庭等福祉推進事業	子育て支援課	11,719	
(3)	生活困窮者支援事業	福祉課	36,346	基本目標8小戦略③
		計	1,182,412	



基本目標	7 「市民総健康」と「生涯現役」をめざす
戦略 (考え方)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 市民一人ひとりが、心身ともに健やかに暮らすために、市民(個人・家族)、地域(団体・機関等)、行政(専門職)等の多様な主体が一緒になって役割を発揮し、健康長寿のまちをつくります。 ◆ 若い世代や働き盛り世代において生活習慣病の重症化予防に取り組むほか、口腔衛生(お口の健康)の強化や健康ポイント制度の導入、また高齢者の多様な社会参加を促すなど健康増進に効果的な取組を強化し、人生100年時代を生き生き暮らす「幸」齢社会をつくります。 ◆ 健康寿命が延伸されるまちづくりに向け、第8期介護保険計画の下、介護予防に一層力を入れるとともに、必要な方に介護サービスが届くよう努めます。 ◆ 新型コロナウイルス感染症等の蔓延により当地域の医療崩壊を招かないよう、医療機関と連携し、検査・医療体制の維持と充実を図ります。

進捗状況確認指標、重要業績評価指標 (KPI)

指標(単位) 把握方法	基準	進捗			目標
	R2	R3	R4	R5	R6
① 国民健康保険加入者の特定健診受診率 (%)	42.3				50.0
② 企業等に行う出前健康講座の新規団体の件数(企業)	1				20 (累計)
③ 要介護認定者数・出現率	6,148人 18.73%				6,490人 19.83%

小戦略(具体的な取組)及び戦略的事務事業

① 新型コロナウイルス感染症対策の推進				
<p>(1) 希望する市民に対してワクチン接種を円滑に実施するため、体制を整備し取り組みます。</p> <p>(2) 地域外来・検査センターを運営し、かかりつけ医・保健所から依頼された方に対して迅速に検査を実施し、感染拡大防止に努めます。</p> <p>(3) 無症状の市民が希望して実施する抗原定量検査の自費検査費用の一部を助成し、検査を受け易い環境を整えます。</p>				
小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)	新型コロナウイルス感染症予防接種事業	保健課	441,464	
(2)	地域外来・検査センター事業	保健課	58,695	
(3)	新型コロナウイルス感染症検査補助事業	保健課	11,118	
		計	511,277	

補足事項

指標①国民健康保険加入者の特定健診受診率の確定は次年度の10月になるため、基準年度は2019年度とし、目標年度を2023年度とする。

② 市民、地域とともに進める健康づくり(働き盛り世代からの生活習慣病予防)

- (1) 生活習慣を見直し、予防のスタートとなる特定健診の受診率を向上させ、継続受診につながるよう受診勧奨を実施します。また、かかりつけ医からの健診受診勧奨や検査結果データの提出を依頼していきます。
- (2) 重症化予防対象者の生活実態を把握するとともに、継続した保健指導を実施し、特定健診の継続受診につなげます。
- (3) 働き盛り世代から生活習慣病予防のため、企業と連携して出前健康講座を開催します。また、青壮年期である消防団健診の結果から、生活習慣病予防につながる取組について検討していきます。
- (4) 自分の健康や介護予防活動に関心を持ち、主体的に取り組む動機づけとなるようなポイント制度の在り方について研究します。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)(2)	国民健康保険特定健康診査・特定保健指導事業	保健課	50,913	
(3)	市民の健康づくり事業	保健課	2,820	
		計	53,733	

③ 後期高齢者を対象とした保健指導(健康づくり)

- (1) KDBシステムを活用して、医療レセプト・健診・介護のデータ等を分析し、健康課題の把握を行い、効果的な事業の実施につなげていきます。
- (2) 国保から後期高齢者医療制度に移行した被保険者に対し、健診の受診を働きかけ、その結果から継続した保健指導を行い、生活習慣病重症化予防に取り組みます。
- (3) 介護予防の通いの場等において、フレイル(虚弱状態)の予防のための、運動・栄養・口腔等の相談・指導を行います。また、健康課題となる疾患についての保健指導を実施します。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)(2)(3)	高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施事業	保健課	714	
(2)	健康診査事業	保健課	98,328	
(3)	高齢者健康づくり事業	保健課	10,252	
		計	109,294	

④ 介護予防(重度化防止)の推進

- 市役所長寿支援課に拡充した基幹包括支援センター機能により、充実した初期相談対応を行います。
- (1) 地域包括支援センターとの連携を緊密に行い、軽度者(要支援者・総合事業対象者)の自立に向けて支援します。
 - (2) 軽度者(要支援者・総合事業対象者)を対象として、それらの状態になる前の生活に戻れるよう、リハビリ専門職等がプログラム提供する短期集中通所型サービスC事業を継続実施します。
 - (3) モデル地区に配置した生活支援コーディネーターや、地区、社協と連携を取りつつ、通いの場との再構築や立ち上げへの支援を目指します。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)	基幹・地域包括支援センター運営事業	長寿支援課	146,367	基本目標8小戦略③
(2)	介護予防・生活支援サービス事業	長寿支援課	326,394	
(3)	生活支援サービス創出コーディネート事業	長寿支援課	1,400	基本目標8小戦略③
		計	474,161	



基本目標	8 共に支え合い、自ら行動する地域福祉を充実させる
戦略 (考え方)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができる地域共生社会の実現を目指して、地域住民や多様な主体と協働で地域福祉を進めます。 ◆ 横断的な課題や現在の福祉制度の狭間の課題に対して、丁寧な対応ができる包括的な支援体制を構築し、必要とする支援につなげ、課題解決に向けて取り組みます。 ◆ 障がい者の社会参加を進めると共に、誰もが暮らしやすい社会を目指してユニバーサルデザインを推進します。

進捗状況確認指標、重要業績評価指標 (KPI)

指標(単位) 把握方法	基準	進捗				目標
	R2	R3	R4	R5	R6	
① 創出される地域福祉活動のモデル数	45				85	
② 地域福祉課題検討会開催地区数(地区)	13				20	
③ 重層的支援相談件数(件)	-				120	
④ 障がい者の社会参加を促進する事業への参加者数(人)	600				1,000	

小戦略(具体的な取組)及び戦略的事務事業

① 地域福祉課題検討会の開催による地域福祉活動の推進

- (1) 各地区において福祉課題検討会を開催し、福祉課題を洗い出し、課題解決のための取組に繋がります。
- (2) 地区が抱える福祉課題の解決に向けて、地域福祉コーディネーターと地域住民が連携した取り組みを支援します。
- (3) 新たに創出される地域福祉活動を支援し、先進事例の横展開を図ります。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)(2)(3)	地域福祉推進事業	福祉課	84,886	
(1)(3)	福祉委員活動事業	福祉課	42,140	
(1)(2)	社会福祉推進事務	福祉課	5,354	
		計	132,380	

② 住み慣れた地域に住み続けられる社会の構築

- (1) 地域での見守り・支え合い活動を進めるために、当事者と双方向性のある住民支え合いマップの整備を進め、地域の見守り体制を強化します。
- (2) 地域住民の一人一人が自立した生活ができるよう、地域で支え合う自立支援の体制づくりを進めます。
- (3) 地域での民生児童委員と健康福祉委員の連携を強化し、個人情報適切な活用により地域福祉の推進を図ります。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)(2)(3)	地域福祉推進事業	福祉課	84,886	
(3)	福祉委員活動事業	福祉課	42,140	
		計	127,026	

③ 複合化・複雑化した課題解決に向けた重層的支援体制の構築

- (1) 相談者の属性、世代、相談内容にかかわらず包括的に受け止める「福祉まるごと相談窓口」を設置し、既存の相談支援機関と連携を強化し、課題解決に向けた支援をします。
- (2) 複合化・複雑化した課題であるため制度に繋がりにくい人や、自ら支援に繋がることが難しい人に、アウトリーチ等を通じた継続的支援を届けます。
- (3) 人や地域とのつながりが希薄な世帯に対して、ニーズや課題を把握し、地域の社会資源の活用や、新たな社会資源の開拓を通じて社会とのつながり作りに向けた支援をします。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)(2)(3)	重層的支援体制整備事業	福祉課	34,219	
(1)(2)	生活困窮者支援事業	福祉課	36,346	基本目標6小戦略④
(1)	障害福祉推進事業	福祉課	62,580	
(3)	地域づくり・地域リハビリテーション推進事業	福祉課	42,450	
(1)	基幹・地域包括支援センター運営事業	長寿支援課	146,367	基本目標7小戦略④
(3)	生活支援サービス創出コーディネート事業	長寿支援課	1,400	基本目標7小戦略④
(1)(2)	地域子育て支援事業	子育て支援課	84,730	基本目標6小戦略③
(1)(2)	乳幼児保健事業	保健課	22,218	基本目標6小戦略②
		計	430,310	

④ 障がい者の社会参加の推進

- (1) 障がいに対する正しい理解を深めるとともに、障がい者自らも参加する文化芸術作品展や参加型イベントを開催し、障がいのある人の社会参加を推進します。
- (2) 誰もが暮らしやすい環境を整備していくために、ユニバーサルデザインを推進します。
- (3) 障がいのある人もスポーツを楽しめるようパラスポーツの普及に努めます。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)(2)(3)	障害者福祉推進事業	福祉課	62,580	
(3)	地域づくり・地域リハビリテーション推進事業	福祉課	42,450	
		計	105,030	



基本目標	9 20地区が輝く生き活きとした地域づくりを地域主体に進める
戦略 (考え方)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 20地区の基本構想と基本計画の実現に向けて、それぞれの地区が個性を生かして魅力的な地域をつくる取組を支援します。 ◆ コロナ禍を乗り越え、時代の変化に対応していくための自治活動組織の改革改善の取組を支援します。 ◆ 地域課題への対応や地域の魅力づくりに取り組む運営組織の立ち上げと活動を支援します。 ◆ 地域の担い手を確保し活力を維持するため、関係人口と移住・定住人口を拡大する「20地区田舎へ還ろう戦略」を推進します。 ◆ 中山間地域が持続的で元気ある地域であり続けるための取組を、地域と行政の協働により進めます。

進捗状況確認指標、重要業績評価指標 (KPI)

指標(単位) 把握方法	基準	進捗			目標
	R2	R3	R4	R5	R6
① 中期期間中に地区基本構想・基本計画の改定・見直しを行った地区数(地区)	—				7 (累計)
② 中期期間中に新たにまちづくり委員会の組織・事業の見直しを行った地区数(地区)	—				20
③ まちづくり委員会が関わる地域運営組織数(特別委員会、NPO等、任意組織)	46				50
④ 自治活動組織への加入率(%)	71.3 (R1)				73.0
⑤ 中期期間中に加入促進コーディネーター活動で自治活動組織への加入に至った件数(件)	—				840 (累計)
⑥ 「飯田市20地区応援隊」の寄附件数(件)	51				60
⑦ 「20地区田舎へ還ろう戦略」により5人以上の移住者の誘致が実現した中山間地区数(地区)	—				7

小戦略(具体的な取組)及び戦略的事務事業

① 生き活きとした住民自治を育む
<p>(1) 各地区の基本構想・基本計画の実現に向けた取組を支援します。</p> <p>(2) まちづくり委員会等の住民自治活動組織における役員負担の軽減、時代の変化に沿った組織体制や事業内容の見直しに向けた取組等への支援を行います。</p> <p>(3) 地域課題の解決や、地域活性化に継続的に取り組む地域運営組織の組織化と活動支援を行います。</p> <p>(4) 自治活動組織の未加入問題について、解決策を探り、地域主体の取組を支援します。</p> <p>(5) パワーアップ地域交付金の仕組みを検証し、支援効果を高めます。</p> <p>(6) ふるさと納税「飯田市20地区応援隊」制度を活用して、地域の課題解決に挑戦する取組を支援します。</p>

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)(2)(3)	地域自治組織運営事業	ムトスまちづくり推進課	2,905	
(1)(4)(5)	地域自治組織助成事業	ムトスまちづくり推進課	120,153	
(3)(6)	20地区田舎へ還ろう戦略支援事業	ムトスまちづくり推進課	3,268	基本目標2小戦略③
		計	126,326	

② 地域の担い手を確保し、活力を維持するための「20地区田舎へ還ろう戦略」の推進

- (1) 20地区が主体となり関係人口・定住人口を拡大していく「田舎へ還ろう戦略」を、各地区自治振興センター・公民館と関係部署がチーム体制を組んで支援・推進します。【基本目標2にも掲載】

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)	20地区田舎へ還ろう戦略支援事業	ムトスまちづくり推進課	3,268	基本目標2小戦略③
		計	3,268	

③ 中山間地域をもっと元気にする

- (1) 第2次中山間地域振興計画に基づく取組を、地域と行政の協働により進めます。
- (2) 空き家の利活用や定住促進のための住宅支援事業を進めるとともに、農村資源を活用した起業家育成を図ります。
- (3) 地域おこし協力隊を導入し、地域主体の課題解決や活性化に向けた取組を支援します。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)(2)(3)	中山間地域振興事業	ムトスまちづくり推進課	43,158	基本目標2小戦略③
(2)	総合的な空き家対策事業	ムトスまちづくり推進課	16,602	基本目標2小戦略③
(1)(2)(3)	遠山郷振興事業	ムトスまちづくり推進課	24,039	基本目標2小戦略③
		計	83,799	



基本目標	10 個性を尊重し、多様な価値観を認め合い、活動の場を広げる
戦略 (考え方)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 地域の活力を生み出す市民活動が広く行われるよう、誰もがチャレンジができ、交流を通じて活動の輪が広がっていくことを目指します。 ◆ 国籍や性などの多様性を認め合い、共に支え合い、共に生きることで、誰一人取り残されない地域社会を目指します。 ◆ 女性や若者や外国人住民を含めた多様な市民が集い、交流し、活動の輪を広げるための拠点づくりを行います。

進捗状況確認指標、重要業績評価指標 (KPI)

指標(単位) 把握方法	基準	進捗			目標
	R2	R3	R4	R5	R6
① 市民活動・地域活動に参加している市民の割合(%)	62.7 (R1)				66.0
② NPO法人数(団体)	60				64
③ ムトス事業助成支援件数(件:累計)	33				140 (R3~R6)
④ 審議会・委員会等への女性委員の比率(%)	29.1 (R1)				30.0 (R4)
⑤ 住民自治活動組織(まちづくり委員会等)の女性委員の比率(%)	32.8				37.0
⑥ 市役所の係長相当の職責の女性比率(%)	33.3				39.0
⑦ 他地域(外国を含む)からの人を受け入れる市民の割合(%)	77.6 (R1)				80.0
⑧ 新たな市民交流活動拠点の構築(か所)	-				1 (R4)

小戦略(具体的な取組)及び戦略的事務事業

① 地域づくりの活力を生み出すムトスの市民活動の推進				
(1) 市民活動組織の継続及び活性化(活動の広がり)への支援を行うとともに、新たな市民活動組織の設立運営を支援します。 (2) 女性や若者のチャレンジを応援する機能の充実と、「支援センター」の創設に向けた研究を官民共同で行います。 (3) エシカル消費(人、社会、環境に配慮した消費)をテーマにした学習交流の場づくりを行い、緩やかで新たな市民活動ネットワークづくりを進めます。				
小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)	市民協働推進事業	ムトスマちづくり推進課	7,800	
(2)	人権・男女共同参画推進事業	男女共同参画課	3,107	基本目標6小戦略③
(3)	消費生活センター事業	男女共同参画課	7,176	
		計	18,083	

② 個性が尊重され、安心して暮らせる地域づくり

- (1) ジェンダー(性の区別)の多様性を認め合い、共に支え合える地域を目指します。
- (2) 職場と家庭における男女共同参画を進めるための「ワーク・ライフ・バランス改革」を推進します。
- (3) 新型コロナウイルス感染症による差別や誹謗中傷を絶対に行わない、思いやりある地域社会をつくりま
す。
- (4) 消費生活センターの継続的な運営を行い、関係機関等と連携し、消費者被害の予防啓発や相談対応を
行うとともに、ライフステージ等に応じた消費者学習を推進します。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)(2)(3)	人権・男女共同参画推進事業	男女共同参画課	3,107	
(3)	平和学習・人権教育推進事業	生涯学習・スポーツ課	1,012	基本目標4小戦略①
(4)	消費生活センター事業	男女共同参画課	7,176	
		計	11,295	

③ 国籍や文化等の多様性を認め合い、外国人住民と共生する地域づくり

- (1) 飯田国際交流推進協会や関係部署等が連携し、飯田駅前プラザ(仮称)で多文化共生社会推進の拠点
づくりを進めます。
- (2) モデル地区を設定し、地域における外国人住民との共生のための取組を行い、全市展開へとつなげま
す。
- (3) 外国人と日本人との「共通語」としての「やさしい日本語」(専門用語や難しい言い回しを用いない平易な
日本語)の普及を進めます。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)(2)(3)	多文化共生社会推進事業	男女共同参画課	5,666	
(1)(2)(3)	多様な学習交流支援事業	公民館	12,480	基本目標4小戦略① 基本目標11小戦略⑤
(1)(2)(3)	特別支援教育支援事業	学校教育課	79,041	基本目標3小戦略②
(1)(2)(3)	人形劇のまちづくり事業	文化会館	46,787	基本目標4小戦略④ 基本目標5小戦略①
		計	143,974	



基本目標	11 地球環境への配慮が当たり前の暮らしとまちづくりの推進
戦略 (考え方)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 「ゼロカーボンシティ」を目指し、二酸化炭素の排出を減らす生活や事業活動への転換を進めていくため、再生可能エネルギーの域産域消や、飯田市版ZEH(ゼロエネルギー住宅)の普及、グリーンリカバリー(緑の復興)による地域の成長をテーマにした共創の場づくりなどの取組を地域ぐるみで進めます。 ◆ 気候変動、生物多様性、廃棄物など身近に迫る環境問題への理解を深める環境学習を多様な世代で推進し、生活をより心豊かで環境にやさしいものにしていく実践の輪を広げます。 ◆ 「もったいない」を常に心がける意識を広め、3R(リデュース(減量)、リユース(再使用)、リサイクル(再資源化))の実践をすすめ、地球規模の課題である温暖化対策や海洋プラスチックとフードロスの削減に地域ぐるみで貢献します。 ◆ リニア駅周辺を、暮らす人が住みやすく、誰もが訪れてみたい環境文化都市を感じられるモデル地域とするための取組を進めます。

進捗状況確認指標、重要業績評価指標 (KPI)

指標(単位) 把握方法	基準	進捗			目標
	R2	R3	R4	R5	R6
① 二酸化炭素排出量削減割合(%) [2005年比]	26.20 (H30)				35.20
② 市内の太陽光発電電力量が一般家庭の 年間電力消費量に占める割合(%)	33.32 (H30)				46.41
③ 一人一日当たり排出ごみ量(g)	579.7 (R1)				552.3
④ ごみ分別アプリダウンロード数	1,500 (R1)				5,000
⑤ 環境に関する学習会や知識を高めるような 行事に参加している人の割合(%)	27.40 (R1)				35.00
⑥ 日常的に省エネや節電のための取組を実 践している市民の割合(%)	80.90 (R2)				88.00
⑦ エシカル消費を心がけている 人数比率	調査により 設定(R3)				調査結果を基に 設定

小戦略(具体的な取組)及び戦略的事務事業

① ごみの3R(減量・再使用・再資源化)を地域ぐるみで推進				
<p>(1) コロナ禍で増えている燃やすゴミの削減に取り組むとともに、官民挙げてフードロスやプラスチックゴミの削減を推進します。</p> <p>(2) 多様な情報媒体を用いた啓発活動に加えて、環境アドバイザー等と連携して小規模コミュニティや各種グループを対象にした3R学習会を開催し、3Rの日常生活への浸透やポイ捨て防止を図ります。</p>				
小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)(2)	3R推進事業	環境課	163,010	
		計	163,010	

② 家計や事業経営を助ける省エネ型への転換

- (1) イベント開催等を通じて、家庭のエネルギー消費の削減、企業のSDGsへの取組を意識した省エネルギー化を推進します。
- (2) 電気自動車や自転車利用の普及拡大等により移動手段の脱炭素化を進めます。
- (3) 地域の気候風土を生かし健康にも優しい「飯田市版ZEH(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)仕様」による住宅整備を、地域内事業者と連携して普及推進します。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)(2)(3)	省エネルギー推進事業	環境モデル都市推進課	12,217	
(3)	建築指導事業	地域計画課	21,392	
		計	33,609	

③ エネルギーの域産域消による環境と経済の地域内好循環と防災力の強化

- (1) 地域の再生可能エネルギー資源を活用したエネルギーの創出と、地域内での活用を進め、環境と調和し災害にも強い暮らしと事業活動を推進します。
- (2) 太陽光・小水力発電設備、蓄電設備、木質バイオマス機器等の普及拡大を進めます。
- (3) 「地域環境権条例」に基づく地域公共再生可能エネルギー活用事業を推進します。
- (4) 地域の経済界、金融界、環境関連の市民組織とともに、グリーンリカバリーを踏まえた環境と経済をテーマにしたプラットフォームの構築を進めます。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)(2)(3)	地域エネルギー普及事業	環境モデル都市推進課	74,777	基本目標13小戦略②
(4)	環境保全一般経費	環境モデル都市推進課	3,898	
		計	78,675	

④ リニア駅周辺におけるモデルエリアの構築

- (1) リニア駅周辺を、暮らす人々が住みやすく誰もが訪れてみたい環境文化都市の取組を体現できるモデル性の高い地区とするため、駅周辺エリアにエネルギーの省エネ、創エネ、地域内循環の仕組みを取り入れるとともに、新たに生まれる住宅街区は「飯田版ZEH仕様」を推奨した環境共生住宅エリアとしての構築を図ります。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)	省エネルギー推進事業	環境モデル都市推進課	12,217	
(1)	地域エネルギー普及事業	環境モデル都市推進課	74,777	基本目標13小戦略②
(1)	建築指導事業	地域計画課	21,392	
		計	108,386	

⑤ 生活をよりよく心豊かにする環境学習と実践の推進

- 幼保、学校、公民館等の社会教育機関、まちづくり委員会等の自治活動組織等と連携し、多様な世代を(1)対象に、日常活動の見直しから、地球規模の環境問題までをテーマにした学び合いの機会をつくり、実践の輪を広げます。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)	環境教育推進事業	環境課	1,672	
(1)	自然環境保全推進事業	環境課	1,246	
(1)	環境保全一般経費	環境モデル都市推進課	3,898	
(1)	多様な学習交流支援事業	公民館	12,480	基本目標4小戦略① 基本目標10小戦略③
		計	19,296	



基本目標	12 災害や社会リスクに備え、社会基盤を強化し、地域防災力の向上を図る
戦略 (考え方)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 市民が安全・安心に暮らせるまちを目指し、地域防災力の向上、地域で取り組む防災・減災のまちづくりなど、自助・共助を支援する環境整備に取り組みます。 ◆ 地域防災力の要である飯田市消防団の体制強化を図ります。 ◆ 暮らしを支える社会基盤の長寿命化と安全対策を図り強靱化を推進すると共に豪雨等の自然災害に対する備えを強化します。 ◆ 災害復旧や社会基盤の維持修繕を担う技能・技術者など担い手の育成支援及び技能・技術の伝承を意識した工事発注や研修体制構築に取り組みます。 ◆ 公共インフラの整備において、自然生態系に配慮した工法や緑化等のグリーンインフラの考え方を取り入れます。

進捗状況確認指標、重要業績評価指標 (KPI)

指標(単位) 把握方法	基準	進捗			目標
	R2	R3	R4	R5	R6
① 防災訓練に参加した市民の割合(%)	46.76				60
② 率先安全避難者登録者数(人)	-				100
③ 策定義務対象となる要配慮者施設避難確保計画策定割合(%)	62.7				100
④ 橋りょう長寿命化修繕完了数	7	17	43	71	84

小戦略(具体的な取組)及び戦略的事務事業

① 災害情報伝達手段の多様化と避難の実効性を高める				
<p>(1) 身の回りのリスクを正しく理解するための学習会や率先安全避難者の登録を進めます。</p> <p>(2) 災害対策本部の機能強化を図りながら、実践的な防災訓練を引き続き実施します。</p> <p>(3) より迅速かつ確実に災害情報が伝わるようにします。</p>				
小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)(2)(3)	防災対策推進事業	危機管理室	243,674	
(1)(2)(3)	災害対策事業	危機管理室	25,744	
		計	269,418	

② 災害対策本部の機能強化を図り、より実践的な防災訓練の実施				
<p>(1) 各部局における災害規模に応じた災害対応計画の策定を進めます。</p> <p>(2) 受援計画の策定を進めながら、地域防災計画等のPDCA化を実施します。</p>				

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)(2)	防災対策推進事業	危機管理室	243,674	
(1)(2)	災害対策事業	危機管理室	25,744	
		計	269,418	

③ 飯田市第12次消防力(消防団)整備計画に基づく消防力の維持・向上

- 消防力の3要素の1つである消防車両を計画的に更新するほか、消防団員が安全に活動できるよう安全装備品等の充実を図ります。
 - 老朽化が進む詰所について、建設からの経過年数や耐災害性等を考慮するとともに、女性団員への配慮に加え、地域の若者が集う場としての詰所を順次整備します。
- 消防力・防災力の維持・向上に必要な訓練等を精査し、活動を可能な限り短い日数・時間で行えるよう断の努力を重ねるとともに、処遇改善や各種専門資格の取得に対する助成等により消防団活動の魅力を高め、団員確保に努めます。
-

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)(3)	非常備消防事業	危機管理室	201,922	
(1)(2)	消防施設整備事業	危機管理室	56,496	
		計	258,418	

④ 通学路生活道路の安全確保と高齢者人身交通事故の抑止

- 地区要望や通学路アクションプログラムに基づき関係機関と連携し緊急性及び危険性の高い箇所から重点的に安全施設整備を行います。
- 高齢者への安全教育や広報啓発を行い高齢者の人身交通事故件数を2025年(R6)年度までに2020(R1)年対比で30%減を目指します。
- 季別の交通安全運動や交通安全教室など交通安全意識高揚に資する活動を年間を通して展開します。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)	交通安全施設整備事業	危機管理室	14,191	
(2)(3)	交通安全事業	危機管理室	3,652	
		計	17,843	

補足事項

- ・次世代の交通安全リーダーおよび啓発活動メンバーとしての飯田交通少年団の活動について、年間計画に基づき事業を実施します。
- ・各地区単位に交通指導員を任命し、街頭指導の実施、交通指導所の開設および各種イベント等での交通安全指導を行います。

⑤ 災害時にも都市機能が維持でき、暮らしを支える社会基盤の戦略的強靱化

- 市道(舗装、橋りょうを含む)、緊急避難場所となる都市公園等暮らしを支える社会基盤の長寿命化、安全対策を進めます。都市公園については次期長寿命化計画を策定します。
- 防災・安全対策が必要な道路については計画的に整備を進め、通学路については、通学路安全対策アクションプログラムに基づき、安全対策を進めます。

(3) 近年増加している集中豪雨による被害に対応するため、河川の危険個所調査を進め、河川・排水路の整備を進めます。

(4) 災害時でもライフラインが確保できるように、暮らしを支える上下水道施設の更新を進めます。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)(2)(3)	防災・安全対策事業	土木課	853,156	基本目標2小戦略②
(2)	公園整備事業	土木課	52,447	
(4)	妙琴浄水場更新整備事業	水道課	30,000	
		計	935,603	

補足事項

・社会基盤の設計、維持修繕を担う技能・技術者など担い手の育成支援として、技術講習会、研修会等の開催に向け関係機関と調整を行います。

・土木技術者の育成支援として、特殊工法、大規模工事において地元高校生を対象に現場見学会等の検討を行います。

・道路、河川、農業施設等の社会基盤の設計時において、事業毎にグリーンインフラの取り組みの検討を行います。



基本目標	13 リニア・三遠南信時代を支える都市基盤を整備する
戦略 (考え方)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ リニア・三遠南信時代を見据えた土地利用について、住民の合意形成を図りながら、全市的な視点で取り組みます。 ◆ 県内唯一のリニア中間駅として、リニア中央新幹線や三遠南信自動車道の整備効果を地域振興に活かすことができるよう、関係者の意向や環境影響等に十分配慮しながら、リニア駅周辺や座光寺スマートIC及び関連施設道路等の施設整備を進め、広域交通拠点の整備と広域的道路ネットワークの強化をはかります。 ◆ 目的地へスムーズに誘うことができ利便性も高いリニアの2次交通や持続可能な公共交通の構築を進めるとともに、この地域らしいスマートモビリティの実装に向け、AI(人工知能)やIoT(インターネットオブシングス)の技術の活用展開について研究します。 ◆ 市民や来訪者の利便性、安全や安心の向上等に資するデジタル化や先端技術活用の可能性を研究し、実装可能なことから実践します。

進捗状況確認指標、重要業績評価指標 (KPI)

指標(単位) 把握方法	基準	進捗			目標
	R2	R3	R4	R5	R6
① リニア駅周辺整備の実施設進捗率(%)	25				100
② 座光寺SICの整備率(%)	69				88
③ 市内EVバスの導入台数(台)	1台				2
④ 公共交通利用者数(人)	373,711				358,000
⑤ 新たな行政電子サービス	-				4

小戦略(具体的な取組)及び戦略的事務事業

① リニア・三遠南信時代を見据えた良好な土地利用の推進				
<p>(1) リニア開通後の暮らしを視野に、適正な土地利用と良好な景観保全に向けた制度や計画づくりに取り組みます。</p> <p>(2) 拠点集約連携型都市構造の推進と「山」「里」「街」の暮らしの実現に向けて、各地区において地域土地利用方針の検討などに取り組みます。</p> <p>(3) 全市的あるいは広域的な課題の検討にあたっては、市の方針や方向性などを示しながら市民と協働で取り組みます。</p>				
小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)(2)(3)	都市計画推進事業	地域計画課	12,606	
(1)(2)(3)	土地利用計画推進事業	地域計画課	870	
		計	13,476	

② リニア中央新幹線や三遠南信自動車道の整備効果を地域振興に活かす広域交通拠点整備と広域道路ネットワークの強化

- (1) 市全体あるいは南信州地域全体の地域振興の観点から、三遠南信自動車道をはじめとする国道や県道の整備に取り組むとともに、関係する市道の整備を進め、広域的な道路ネットワークの強化をはかります。
- 地権者をはじめとする関係者の意向や環境影響等にも意を配しつつ、県内唯一のリニア中間駅であることも踏まえて、リニアの整備効果を地域振興に活かすために必要となるリニア駅周辺やその近辺の道路の整備を進めるとともに、リニアの高速性を活かす上で欠くことのできない座光寺スマートICの整備に引き続き取り組みます。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)	道路事業促進同盟会参画事業	国県関連事業課	4,126	
(1)	国県関連事業	国県関連事業課	52,700	
(1)	道路ネットワーク整備事業	土木課	498,357	
(2)	リニア駅周辺整備事業	リニア整備課	439,184	
(2)	代替地整備事業	リニア用地課	784,989	
(2)	リニア用地取得事業	リニア用地課	32,873	
(2)	リニア推進事業	リニア推進課	124,052	
(2)	地域エネルギー普及事業	環境モデル都市推進課	74,777	基本目標11小戦略③④
(2)	リニア関連道路整備事業	国県関連事業課	61,969	
		計	2,073,027	

補足事項

①のリニア駅周辺整備の実設計画進捗率は令和5年度(2023年度)に完了予定。

③ リニアの2次交通及び持続可能な地域公共交通の実現と、AI等の技術を活用したスマートモビリティの実装

- (1) 都市圏へ向かうリニア利用者のリニア駅へのアクセス、あるいは都市圏から来訪するリニア利用者を各観光地等の様々な拠点へ誘うための交通手段、この2つの視点を踏まえて、利便性が高く、リニアの整備効果を最大限に享受することができるような2次交通の実現に取り組みます。
- (2) 住民の日常生活に欠かせない移動手段である地域公共交通が、将来にわたり持続可能な形で運営することができるよう、その交通体系の構築に向けて取り組みます。
- (3) 2次交通や持続可能な地域公共交通を検討するに当たっては、この地域らしさを活かしたスマートモビリティを実装できるよう、AIやIoTの技術の活用展開について研究を進めます。
- 新たな交通システムが、需要創造等の産業振興策と連携したり、様々な地域課題の解決に資することができるよう、技術の進歩が目覚ましいモビリティの分野や環境・エネルギーの観点も踏まえつつ、電気自動車やMaaS、さらには自動運転等の導入について検討します。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)(2)(3)(4)	交通体系整備事業	リニア推進課	160,902	
		計	160,902	

補足事項

④公共交通利用者数の目標値は、2020年から2025年の人口予測を踏まえ算出(国立社会保障・人口問題研究所平成30年(2018)年推計参照)

④ デジタル化、先端技術活用推進に向けた研究と実装

- 加速する社会全体のデジタル化に対応するため、当面、行政電子サービスの拡充による利便性の向上、
- (1) 先端技術の効果的活用方法や実装について、外部専門家の活用、民間事業者の提案などを参考にして研究します。

小戦略 (番号)	事務事業名	主管課	当初予算 (千円)	備考
(1)	情報システム事業	総務文書課	389,032	
(1)	IIDAブランド推進事業	IIDAブランド推進課	10,347	基本目標2小戦略①
		計	399,379	